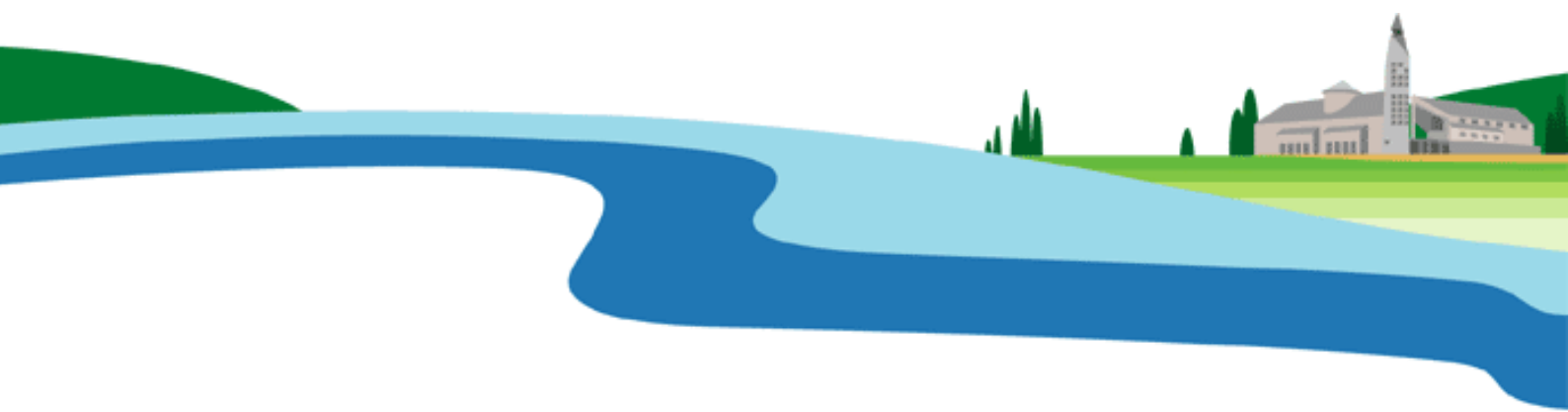




滋賀県立大学 2019年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110011	英語	A (活性化コース)	(環境)	佐久間 思帆	前期	1
1110012	英語	B (活性化コース)	(環境)	佐久間 思帆	後期	3
1110021	英語	A (活性化コース)	(環境)	渡 寛法	前期	5
1110022	英語	B (活性化コース)	(環境)	渡 寛法	後期	7
1110031	英語	A (活性化コース)	(環境)	香山 恵美	前期	9
1110032	英語	B (活性化コース)	(環境)	香山 恵美	後期	11
1110041	英語	A (活性化コース)	(環境)	西澤 裕一	前期	13
1110042	英語	B (活性化コース)	(環境)	西澤 裕一	後期	15
1110051	英語	A (活性化コース)	(環境)	関 初海	前期	17
1110052	英語	B (活性化コース)	(環境)	関 初海	後期	19
1110061	英語	A (活性化コース)	(環境)	神田 眞喜子	前期	21
1110062	英語	B (活性化コース)	(環境)	Armando Duarte	後期	23
1110221	英語	A (応用コース)	(環境)	Graham Jones	前期	25
1110222	英語	B (応用コース)	(環境)	Graham Jones	後期	27
1110231	英語	A (応用コース)	(環境)	Ashley Stevens	前期	29
1110232	英語	B (応用コース)	(環境)	Ashley Stevens	後期	31
1110241	英語	A (応用コース)	(環境)	齊藤 倫子	前期	33
1110242	英語	B (応用コース)	(環境)	齊藤 倫子	後期	35
1110251	英語	A (応用コース)	(環境)	Graham Jones	前期	37
1110252	英語	B (応用コース)	(環境)	Graham Jones	後期	39
1110261	英語	A (応用コース)	(環境)	Karl Hedberg	前期	41
1110262	英語	B (応用コース)	(環境)	Karl Hedberg	後期	43
1110271	英語	A (応用コース)	(環境)	Gordon Maclaren	前期	45
1110272	英語	B (応用コース)	(環境)	Gordon Maclaren	後期	47
1110421	英語	A (充実コース)	(環境)	市場 史哉	前期	49
1110422	英語	B (充実コース)	(環境)	市場 史哉	後期	51
1110431	英語	A (充実コース)	(環境)	西澤 裕一	前期	53
1110432	英語	B (充実コース)	(環境)	西澤 裕一	後期	55
1110441	英語	A (充実コース)	(環境)	真田 満	前期	57
1110442	英語	B (充実コース)	(環境)	真田 満	後期	59
1110451	英語	A (充実コース)	(環境)	Armando Duarte	前期	61
1110452	英語	B (充実コース)	(環境)	Armando Duarte	後期	63
1110461	英語	A (充実コース)	(環境)	佐久間 思帆	前期	65
1110462	英語	B (充実コース)	(環境)	佐久間 思帆	後期	67
1110471	英語	A (充実コース)	(環境)	Graham Jones	前期	69
1110472	英語	B (充実コース)	(環境)	Graham Jones	後期	71
1110631	英語	A (展開コース)	(環境)	菰田 真由美	前期	73
1110632	英語	B (展開コース)	(環境)	菰田 真由美	後期	75
1110641	英語	A (展開コース)	(環境)	齊藤 倫子	前期	77
1110642	英語	B (展開コース)	(環境)	坂本 輝世	後期	79
1110651	英語	A (展開コース)	(環境)	神田 眞喜子	前期	81
1110652	英語	B (展開コース)	(環境)	神田 眞喜子	後期	83
1110661	英語	A (展開コース)	(環境)	菰田 真由美	前期	85
1110662	英語	B (展開コース)	(環境)	菰田 真由美	後期	87
1110671	英語	A (展開コース)	(環境)	坂本 輝世	前期	89
1110672	英語	B (展開コース)	(環境)	坂本 輝世	後期	91
1110681	英語	A (展開コース)	(環境)	渡 寛法	前期	93
1110682	英語	B (展開コース)	(環境)	渡 寛法	後期	95
1130010	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(環境a)	森 將豪	前期	97	
1130020	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(環境b)	亀田 彰喜	前期	99	
1130030	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(環境c)	森 將豪	前期	101	
1130040	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(環境d)	亀田 彰喜	前期	103	
1130140	情報科学概論 (環境a)	森 將豪	後期		105	
1130150	情報科学概論 (環境b)	亀田 彰喜	後期		107	
1130160	情報科学概論 (環境c)	森 將豪	後期		109	
1130170	情報科学概論 (環境d)	亀田 彰喜	後期		111	
1150050	環境行動論/ 迫田 正美	前期			113	
1150300	人間探求学 (環境政策・計画)	学科教員	前期		115	
1200050	G I S 演習 香川 雄一	後期			117	
1200102	環境政策デザイン論・演習 瀧 健太郎	前期			119	
1200150	応用数学 井手 慎司	後期			121	
1200160	応用統計学 白木 裕斗	前期			123	
1200170	応用統計学 村上 一真	後期			125	
1200300	環境アセスメント 錦澤 滋雄	前期集中			127	
1200330	環境会計 藤近 雅彦	前期			129	
1200370	環境化学 丸尾 雅啓	前期			131	
1200390	環境科学概論 小泉 尚嗣	前期			133	
1200400	環境科学概論 瀧 健太郎	後期			135	
1200440	環境学原論/ 村上 修一	前期			137	
1200480	環境監査 池北 實	前期集中			139	
1200555	環境経営学 高橋 卓也	後期			141	
1200560	環境計画学 瀧 健太郎	後期			143	
1200571	環境経済演習 林 宰司	後期			145	
1200580	環境経済学 林 宰司	後期			147	
1200581	環境経済学入門 高橋 卓也	前期			149	

1200582	環境財政	村上 一真	後期	・ ・ ・	151
1200620	環境シミュレーション	井手 慎司	後期	・ ・ ・	153
1200630	環境社会学	平岡 俊一	前期	・ ・ ・	155
1200645	環境情報	白木 裕斗	後期	・ ・ ・	157
1200661	環境心理学	佐々木 和之	前期	・ ・ ・	159
1200665	環境水文学	大久保 卓也	前期	・ ・ ・	161
1200700	環境政策学	上河原 献二	後期	・ ・ ・	163
1200770	環境生物学	浦部 美佐子	後期	・ ・ ・	165
1200890	環境地球科学	堂満 華子	前期	・ ・ ・	167
1200960	環境フィールドワーク	学部教員	前期	・ ・ ・	169
1200970	環境フィールドワーク	学部教員	前期	・ ・ ・	171
1200980	環境フィールドワーク	学部教員	通年集中	・ ・ ・	173
1200990	環境物理学	小泉 尚嗣	後期	・ ・ ・	175
1201039	環境法	上河原 献二	前期	・ ・ ・	177
1201060	環境マネジメント演習	高橋 卓也	前期	・ ・ ・	179
1201085	環境公正論	土屋 正春	前期	・ ・ ・	181
1201110	基礎数学	山崎 惣治郎	前期	・ ・ ・	183
1201120	基礎数学	山崎 惣治郎	後期	・ ・ ・	185
1201130	基礎統計	金谷 健	前期	・ ・ ・	187
1201160	景観計画	村上 修一	後期	・ ・ ・	189
1201170	経済学	林 宰司	後期	・ ・ ・	191
1201180	経済学（国際経済を含む）	村上 一真	前期	・ ・ ・	193
1201331	合意形成支援技法・演習	金谷 健	後期	・ ・ ・	195
1201380	国際環境資源論	高橋 卓也	後期	・ ・ ・	197
1201465	サステナブルデザイン論	芦澤 竜一	前期	・ ・ ・	199
1201470	資源経済学	高橋 卓也	前期	・ ・ ・	201
1201550	市民参加論	平岡 俊一	後期	・ ・ ・	203
1201560	社会学	平岡 俊一	前期	・ ・ ・	205
1201621	社会システム分析設計・演習	和田 有朗	後期	・ ・ ・	207
1201630	社会調査実習（政策）	平岡 俊一	通年	・ ・ ・	209
1201790	森林環境学	渡部 俊太郎	前期	・ ・ ・	211
1201930	政策計画演習	学科教員	前期	・ ・ ・	213
1201940	政策計画演習	学科教員	後期	・ ・ ・	215
1201950	政策計画演習	学科教員	前期	・ ・ ・	217
1201960	政策計画演習	学科教員	後期	・ ・ ・	219
1201961	政策計画基礎演習	学科教員	前期	・ ・ ・	221
1201962	政策計画基礎演習	学科教員	後期	・ ・ ・	223
1201970	政策形成・施設演習	学科教員	後期	・ ・ ・	225
1201980	政治学	望月 詩史	前期	・ ・ ・	227
1201990	政治学（国際政治を含む）	望月 詩史	後期	・ ・ ・	229
1202441	卒業研究（環境政策・計画）	学科教員	前期研究	・ ・ ・	231
1202442	卒業研究（環境政策・計画）	学科教員	後期研究	・ ・ ・	233
1202550	地域開発論	平山 奈央子	前期	・ ・ ・	235
1202580	地域環境政策論	香川 雄一	前期	・ ・ ・	237
1202640	地域システム論	和田 有朗	前期	・ ・ ・	239
1202660	地域調査法	香川 雄一	前期	・ ・ ・	241
1202670	地域調査法演習	香川 雄一	後期	・ ・ ・	243
1202710	地球環境システム論	上河原 献二	後期	・ ・ ・	245
1202750	動物生態学	高倉 耕一	後期	・ ・ ・	247
1202950	廃棄物管理論	金谷 健	前期	・ ・ ・	249
1203061	ファシリテーション技法・演習	平山 奈央子	後期	・ ・ ・	251
1203110	法学概論（国際法を含む）	坂田 雅夫	前期	・ ・ ・	253
1203150	水環境政策論	井手 慎司	前期	・ ・ ・	255
1300040	エネルギー変換工学	河崎 澄	後期	・ ・ ・	257

講義名	英語 A（活性化コース）（環境）						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110011	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト（筆記式）と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます（定期テスト50点中10点分になります）
5回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口優美子、柳田真知子	金星堂	978-4-7647-4089-1
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110012	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口優美子、柳田真知子	金星堂	978-4-7647-4089-1
2				
3				

前期と教科書は同じです。必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 A（活性化コース）（環境）						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110021	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(20%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEICR TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ（スマートフォンでもOK）を持ってくるください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（環境）						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110022	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(20%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEICR TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（活性化コース）（環境）						担当教員	香山 恵美
講義コード	1110031	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

到達目標

日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30% 授業内での取り組み
30% 授業内の課題
40% 到達度確認テスト（2回）

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（環境）						担当教員	香山 恵美
講義コード	1110032	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業では、英語コミュニケーション能力の向上と、TOEICの問題演習によってスコアアップを目指します。コミュニケーションはさまざまなトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の意見を述べることや相手の話を聞いて質問をする練習をします。TOEICでは、テスト形式の練習問題でテストの概要に慣れ、問題を解くスピードを向上させます。また、スキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、動画や音楽をつかったリスニング練習などを行います。

到達目標

日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
TOEICの問題を解くことに慣れ、出題の傾向を理解して問題を解くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

30% 授業内での取り組み
30% 授業内の課題
40% 到達度確認テスト（2回）

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（活性化コース）（環境）						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110041	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上を目標とします。語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点が狙えるような比較的短い時間で長文の内容を理解できる英語の読解力を身につけること。
2. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力（特に基本的なビジネス英語の知識）を身につけること。
3. TOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30%	リスニングに関するレポート課題15% 語彙に関する小テスト15%
上記以外	20%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Gear Up for the TOEIC Test	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子	金星堂	9784764739581
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (環境)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110041	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Events (1)	授業の進め方の説明とTOEIC問題演習
第2回	Events (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第3回	Eating Out (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第4回	Eating Out (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第5回	Shopping (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第6回	Shopping (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第7回	Office(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第8回	Office(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第9回	Housing (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第10回	Housing (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第11回	Community(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第12回	Community(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第13回	Facilities(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第14回	Facilities(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第15回	Personnel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第16回	Personnel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第17回	Meeting and Workshops (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第18回	Meeting and Workshops (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第19回	Transaction and Finance (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第20回	Transaction and Finance (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第21回	Travel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第22回	Travel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第23回	Health (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第24回	Health (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第25回	Letter and Email (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第26回	Letter and Email (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第27回	Ads and Notice (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第28回	Ads and Notice (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第29回	News (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第30回	News (2)/まとめ	語彙の確認とTOEIC問題演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。また学内TOEIC以降はTOEIC以外の内容も扱う予定です。とにかく授業に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください

講義名	英語 B（活性化コース）（環境）						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110042	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上を目標とします。語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点が狙えるような比較的短い時間で長文の内容を理解できる英語の読解力を身につけること。
2. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力（特に基本的なビジネス英語の知識）を身につけること。
3. TOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30%	リスニングに関するレポート課題15% 語彙に関する小テスト15%
上記以外	20%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Gear Up for the TOEIC Test	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子	金星堂	9784764739581
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110042	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Events (1)	授業の進め方の説明とTOEIC問題演習
第2回	Events (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第3回	Eating Out (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第4回	Eating Out (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第5回	Shopping (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第6回	Shopping (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第7回	Office(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第8回	Office(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第9回	Housing (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第10回	Housing (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第11回	Community(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第12回	Community(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第13回	Facilities(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第14回	Facilities(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第15回	Personnel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第16回	Personnel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第17回	Meeting and Workshops (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第18回	Meeting and Workshops (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第19回	Transaction and Finance (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第20回	Transaction and Finance (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第21回	Travel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第22回	Travel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第23回	Health (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第24回	Health (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第25回	Letter and Email (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第26回	Letter and Email (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第27回	Ads and Notice (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第28回	Ads and Notice (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第29回	News (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第30回	News (2)/まとめ	語彙の確認とTOEIC問題演習

担当者から一言
12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。また学内TOEIC以降はTOEIC以外の内容も扱う予定です。とにかく授業に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてくださ

講義名	英語 A (活性化コース) (環境)						担当教員	関 初海
講義コード	1110051	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

TOEIC形式の問題を正確に解く力を身につける。
TOEICのリスニング音声や読解問題を活用し、ライティング・スピーキング能力といった、英語発信能力をきたえる。

到達目標

- (1) TOEICの語彙力を身につける
- (2) リスニング能力の向上
- (3) リーディング能力の向上
- (4) ライティング能力の向上
- (5) スピーキング能力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(2),(3),(4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	到達目標(1)について毎回の授業冒頭での小テストで評価(10%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価(20%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口 優美子他	金星堂	9784764740891
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)						担当教員	関 初海
講義コード	1110052	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

TOEIC形式の問題を正確に解く力を身につける。
TOEICのリスニング音声や読解問題を活用し、ライティング・スピーキング能力といった、英語発信能力をきたえる。

到達目標

- (1) TOEICの語彙力を身につける
- (2) リスニング能力の向上
- (3) リーディング能力の向上
- (4) ライティング能力の向上
- (5) スピーキング能力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(2),(3),(4)について定期試験で評価する。
レポート課題	0	
上記以外	30	到達目標(1)について毎回の授業冒頭での小テストで評価(10%) 到達目標(5)について、授業内でのプレゼンテーションで評価(20%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE	溝口 優美子他	金星堂	9784764740891
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (環境)						担当教員	神田 真喜子
講義コード	1110061	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業はTOEICの問題形式に慣れ、基本的な英語力をつけることを目的とする。特に、リスニング力や読解力の養成に重点を置くが、英語コミュニケーション能力の基礎となる、語彙や文法の基本的な知識の確認もする。ペアワークやグループワークを通して、インプットからアウトプットへつなげる活動もする。

到達目標

- (1) TOEICに必要なリスニング力を身につける。
- (2) TOEICに必要な読解力を身につける。
- (3) 語彙力や文法力を向上させる。
- (4) 積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)(2)(3)について、期末テスト40%で評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(1)(2)(3)について、到達度確認テストを2回行い、40%として評価。 到達目標(2)(3)(4)について、指示する活動や課題で20%として評価。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST	Koji Hayakawa 他	KINSEIDO	978-4-7647-4045-7
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。辞書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110062	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業はTOEICの問題形式に慣れ、基本的な英語力をつけることを目的とする。特に、リスニング力や読解力の養成に重点を置くが、英語コミュニケーション能力の基礎となる、語彙や文法の基本的な知識の確認もする。。ペアワークやグループワークを通して、インプットからアウトプットへつなげる活動もする。

到達目標

(1) TOEICに必要なリスニング力を身につける。
(2) TOEICに必要な読解力を身につける。
(3) 語彙力や文法力を向上させる。
(4) 積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)(2)(3)について、期末試験40%で評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(1)(2)(3)について、到達度確認テストを2回行い、30%として評価。 到達目標(2)(3)について、毎回の課題で20%として評価。 到達目標(4)について、授業中の積極的な発言や発表で10%として評価。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	THE HIGH ROAD TO THE TOEICR LISTENING AND READING TEST	早川 幸治他	金星堂	987-4-7647-4045-7
2				
3				

辞書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110221	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will use a range of communicative activities to gain confidence and improve their English skills. Students will use a language framework to (a) set goals for their English, (b) measure their progress, and (c) start thinking about English learning as a lifelong activity.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery; their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	50	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Objective 2 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外		

授業外学習

One hour a week. Review and practice class material, and prepare for the tests.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (環境)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110222	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will use a range of communicative activities to gain confidence and improve their English skills. Students will use a language framework to (a) set goals for their English, (b) measure their progress, and (c) continue thinking about English learning as a lifelong activity.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery; their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	50	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Objective 2 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外		

授業外学習

One hour a week. Review and practice class material, and prepare for the tests.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110231	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours).Topic-related writing (6 hours).Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (環境)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110232	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours).Topic-related writing (6 hours).Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110241	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher meets with each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read their essay or story aloud and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

Homework: There will be speaking and writing homework in this class.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Final Oral Presentation - Students will give a final presentation in class. Students will also submit a written speech.
レポート課題	50	Mid-term Speaking test: Each Speaking Objective - 25% each Mid-term Writing test: Writing Objectives 1 & 3 - 25% each, Writing Objective 3 - 50%
上記以外	25	Homework - There will be writing and speaking homework in this class.

学生はクラスを4回以上欠席すると評価の対象としません。また遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (環境)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110242	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will complete weekly speaking homework assignments using their smartphones and Google Drive. Students will receive weekly comments and feedback on their speaking abilities. Writing skills from the previous semester will be used again, and new writing skills will be introduced.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Midterm Presentation: 50% (each speaking objective 25% each; writing objectives 1 & 3 25% each, writing objective 3 50%), in class time week 8. Students will write and present about their summer vacation.
レポート課題	25	Homework: There will be writing and speaking homework on various topics.
上記以外	25	Final Presentation: Students will give a presentation about their success from this year academic year and their goals for the next year.

学生はクラスを4回以上欠席すると評価の対象としません。また遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110251	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will use a range of communicative activities to gain confidence and improve their English skills. Students will use a language framework to (a) set goals for their English, (b) measure their progress, and (c) start thinking about English learning as a lifelong activity.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery; their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	50	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Objective 2 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外		

授業外学習

One hour a week. Review and practice class material, and prepare for the tests.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (環境)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110252	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will use a range of communicative activities to gain confidence and improve their English skills. Students will use a language framework to (a) set goals for their English, (b) measure their progress, and (c) continue thinking about English learning as a lifelong activity.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery; their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	50	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Objective 2 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外		

授業外学習

One hour a week. Review and practice class material, and prepare for the tests.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110261	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English Publications	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (環境)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110262	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境)						担当教員	Gordon MacIaren
講義コード	1110271	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and speech presentations. Our text is a play made up of 20 short parts, most of which one-third of student pairs will intensively study at home (= major homework every 3rd week). In normal class weeks, from April to June, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, movements and gestures as a class, then in pairs. After studying, the next week some pairs will perform the memorized scene as a test. Each student pair will do this four times. In July, those same student pairs will rewrite 5 pages worth of scene dialog, changing over half of it. Once the instructor corrects it, they will then perform 'their own' scene as a final test.

PAIR-ACT DRAMA SCENE (1/3 OF STUDENT PAIRS GRADED WEEKLY; FOLLOWING WEEK'S PRONUNCIATION PRACTICE)

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 4 scenes for pair performance from memory (8 hours total) Pairs rewrite 75-90% of a 'new' scene based on Scenes VII & VIII (4 hours) Study this combined scene for end-of-term performance from memory (3 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars[New Version]		Drama Works, 2009	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (環境)						担当教員	Gordon MacIaren
講義コード	1110272	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues. Our text is a play made up of 20 short parts, half of which each pair of students will study at home (= homework every 2nd week). Most weeks in class, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, choreography and gestures as a class. The next week, half of the class student pairs will perform the memorized scene. Each term, half the class -- in student pairs -- will rewrite then perform 1-2 scenes. In the middle of the other term (either June or November), students will individually write about themselves or something that interests them. This paper will form the basis of a private chat with me, conducted while the rest of the class is learning and listening to the dialog of an English movie.

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 2 scenes for pair performance (5 hours total) Study two or three Screen Plays for movie quiz (3 hours total) Write an extensive 350-550 word report on your life, an autobiography, in English (7 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars [New Version]		(Drama Works, 2009)	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (環境)						担当教員	市場 史哉
講義コード	1110421	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各Unitのリスニング問題を行う。

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
中間テスト、期末テストまでにオンライン動画配信サービスを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	ABC World News 20	Shigeru Yamane	金星堂	978-4-7647-4051-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (環境)						担当教員	市場 史哉
講義コード	1110422	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各ユニットのリスニング問題を行う。

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
中間テスト、期末テストまでに動画配信サービスを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Broadcast: ABC World News Tonight	山根繁	金星堂	978-4-7647-4073-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (環境)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110431	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。 また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。 4 回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。 通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	TOEICテスト英単語Core Core 1200	小川慶	テイエス企画	488784204x
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (環境)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110431	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ
担当者から一言		
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力を身につ		

講義名	英語 B (充実コース) (環境)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110432	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。 また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。 4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。 通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	TOEICテスト英単語Core Core 1200	小川慶	テイエス企画	488784204x
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (環境)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110432	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ
担当者から一言		
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力を身につ		

講義名	英語 A (充実コース) (環境)						担当教員	真田 満
講義コード	1110441	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

現代社会の諸問題に関するエッセイや科学に関する文章を読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において、英語を音読し、発言することで弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 に関し、2回小テストを行い、評価の40%とする。 到達目標 と に関しては、授業での発表をもとに、評価の20%とする。この20%には毎回の宿題も含める。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Impact 2	Katherine Stannett	Cengage	9781305509313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

英語Iおよび英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (環境)						担当教員	真田 満
講義コード	1110442	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

現代社会の諸問題に関するエッセイや科学に関する文章を読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。また、正確な英文法に注意しながら、論理的な英語を書く力を養う。英語を書くだけでなく、自分の考えを発表し、他学生と議論する能力も培う。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で書くことができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 に関し、2回小テストを行い、評価の40%とする。 到達目標 と に関しては、授業での発表をもとに、評価の20%とする。この20%には毎回の宿題も含める。

総授業回数の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Impact 2	Katherine Stannett	Cengage	9781305509313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (環境)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110451	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities such as group discussions and writing activities.

Mid-term Presentation: Students write a one-page essay or story. The teacher meets with each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read their essay or story aloud and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read their essays aloud to the class and the teacher gives grades for writing and speaking.

Homework: There will be speaking and writing homework in this class.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Final Oral Presentation - Students will give a final presentation in class. Students will also submit a written speech.
レポート課題	50	Mid-term Speaking test: Each Speaking Objective - 25% each Mid-term Writing test: Writing Objectives 1 & 3 - 25% each, Writing Objective 3 - 50%
上記以外	25	Homework - There will be writing and speaking homework in this class.

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated. 学生はクラスを3回以上欠席すると毎回欠席は採点から3点減らす。Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Writing Paragraphs: From Sentence to Paragraph	Dorothy Zemach, Carlos Islam	Macmillan	978-02-30415-93-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students are encouraged to bring a Japanese-English/English-Japanese dictionary (any is OK).

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (環境)						担当教員	Armando Duarte
講義コード	1110452	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

This social studies themed course focuses on building vocabulary as well as improving reading comprehension and listening skills. This approach will have clear benefits for those students taking the TOEIC test. Students will also work on their paragraph/essay writing skills and receive coaching from the tutor. In class, the students will work in pairs and small groups on discussion exercises related to course text topics. Students will also be introduced to a number of self-study techniques to empower their own learning experiences.

到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.
Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.
Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term essay speaking/reading test
レポート課題	25	Mid-term essay writing
上記以外	50	Final Test

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Required Text: Hot Topics Japan II - Stephanie Alexander [Compass Publishing].

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (環境)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110461	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE	番場直之、小山克明	金星堂	978-4-7647-4090-7
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

3回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

--

講義名	英語 B (充実コース) (環境)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110462	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、書いてある、もしくは音声での英語を素早く理解し、そしてアウトプットできるようなることを目標として、演習形式で特訓します。
英語を読み・聞くだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。
毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)と授業の最後にグループ単位での課題提出があります。
期末テストの他に14、15回目の講義で英文の暗唱テストを行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

14回、15回目の講義で英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)
5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	978-4-7647-4090-7	番場直之、小山克明	金星堂	978-4-7647-4090-7
2				
3				

前期と教科書は同じです。必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

どのような物でも構わないので辞書を持参のこと。

前提学力等

3回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (環境)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110471	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

This social studies themed course will build on the speaking, listening, writing and reading skills of students, and further develop their vocabulary. In class, the students will work in pairs and small groups. Students will also practise a number of self-study techniques.

到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.
Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.
Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term listening/speaking test
レポート課題	50	Mid-term reading/writing test
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	978-1-61352-519-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (環境)						担当教員	Graham Jones
講義コード	1110472	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

This social studies themed course will build on the speaking, listening, writing and reading skills of students, and further develop their vocabulary. In class, the students will work in pairs and small groups. Students will also practise a number of self-study techniques.

到達目標

Reading: Students will be able to read and comprehend longer articles written using complex English sentences and topic-specific vocabulary.
Writing: Students will be able to write grammatically correct complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.
Speaking: Students will be able to articulate simple opinions and express agreement/disagreement in class discussions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	End-of-term listening/speaking test
レポート課題	50	Mid-term reading/writing test
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	978-1-61352-519-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (環境)						担当教員	菰田 真由美
講義コード	1110631	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

この授業では、外国人が実際に体験する日本文化の現地レポートと、様々な国の出身者が自国文化と日本文化の違いを語るディスカッションの映像を見て、世界各国の多様な文化背景を持つスピーカーの考えに触れ、日本文化を再認識し、世界へ向けて英語で発信する力を養う。

到達目標

- (1) 語彙力を増強する。
- (2) 英語母語話者および非母語話者による英語を聞き取り、ペアまたはグループ・ワークによって自分の考えを述べる。
- (3) 日本文化を紹介する映像を視聴し、その内容を理解する。
- (4) 日本事象について英語で発信することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標(4)については、レポート課題によって評価する
上記以外	60%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(30%)、到達目標(2)(3)については、授業中の活動への積極的な参加(30%)によって評価する。

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。授業中の携帯電話の使用は認めない。

授業外学習

毎週の授業について、web動画による視聴および音読を行い、復習をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Discovering Cool Japan	Akiko Tusuda他	成美堂	978-4-7919-7187-9
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (環境)						担当教員	菰田 真由美
講義コード	1110632	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

この授業では、NHK World Japanの海外向けニュース番組NEWSLINEを視聴し、国内のニュースを英語で理解し、さらに発信する力を養成する。

到達目標

- (1)時事問題に関する語彙および身近な日本語に対する英語表現を習得する。
- (2)ニュースを聞いて正しくその内容を理解することができる。
- (3)正しい発音とイントネーションを身に付け、ニュースを音読することができる。
- (4)ニュースの内容について自分の意見を英語で述べるすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(4)については、発表及びワークシートの提出で評価する。
上記以外	60%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(30%)、到達目標(2)(3)については、授業中の活動への積極的な参加(20%)によって評価する。さらに後期に受験するTOEICスコア(10%)を組み込む。

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。授業中は携帯電話等の通信機器の使用は認めない。また、居眠りや私語、内職等は減点対象となる。

授業外学習

毎週の授業後、各ユニットの映像をオンラインで視聴し、リスニング及びシャドウイング練習を行うこと。さらに、毎週実施する小テストに備えて語彙を覚えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NHK Newsline2	Tatshuro Yamazaki	金星堂	978-4-7647-4072-3
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (環境)						担当教員	齊藤 倫子
講義コード	1110641	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

この授業では、リスニングとリーディングを中心に英語の全般的な能力を総合的に高めることを目的とする。リーディングで全体の構造を把握し、50 words程度の比較的易しい英語を使って、自分の考えを英語で発信する練習を行う。Timed Readingなどの宿題や毎週のクイズ、クラスでのアクティビティーに積極的に取り組んで、さらに英語力を伸ばしていただきたい。

到達目標

- (1) リーディング力を向上させる
- (2) 自分の意見をまとめて英文で書くことができる
- (3) 積極的に英語でコミュニケーションする経験を積む

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	確認テストによって評価
レポート課題	25%	ライティング課題
上記以外	50	小テスト、Timed Reading およびその他の課題

正当な理由がなく4回以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

語学の学習は、週1回のクラスだけではできません。Listening Journalなどに積極的に取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading choice	Yasuko Okino, Miwako Yamashina, Mitsuru Yokoyama	Cengage Learning	9781285197494
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（環境）						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110642	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

この授業は、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を精確に読み取る力（リーディング）、理解し考えたことを英語で表現する力（ライティング）、口頭での英語発表のやり取りを行う力（スピーキング＋リスニング）を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってもらいますが、小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

到達目標

- （１）自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- （２）口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- （３）自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を精確に読み取る力を身につける

成績評価

種別	割合（％）	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標（１）について、中間および最終発表によって評価（15％） 到達目標（２）について、中間および最終発表によって評価（25％） 到達目標（１）（２）（３）について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価（50％）

正当な理由がなく全クラスの１／３以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻３回で欠席１回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	プロジェクト発信型英語 1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書が電子辞書を用意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（環境）						担当教員	神田 眞喜子
講義コード	1110651	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

本授業では、4技能を統合的に活用し、特にライティング能力の向上に重点を置きます。パラグラフライティングから論理的な文章が書けることを目標とします。パラグラフライティングに必要な文法や表現を学習します。また、リスニングと音読を通してパラグラフの構成についても学習します。ペアワークやグループワークを通してインプットからアウトプットにつなげる活動もします。

到達目標

- (1) 論理的なパラグラフを書くことができる。
- (2) 語彙力や文法力を向上させる。
- (3) リスニング力を向上させる。
- (4) 積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)(2)(3)について、期末試験で40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(1)(2)について、エッセーテストを2回行い、40%として評価。 到達目標(2)(3)(4)について、指示した活動や課題で20%として評価。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Smart Writing	Miyako Nakaya他	SEIBIDO	978-4-7919-6032-3
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。辞書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (環境)						担当教員	神田 眞喜子
講義コード	1110652	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

本授業では、4技能を統合的に活用し、特にライティング能力の向上に重点を置きます。パラグラフライティングから論理的な文章が書けることを目標とします。パラグラフライティングに必要な文法や表現を学習します。また、リスニングと音読を通してパラグラフの構成についても学習します。ペアワークやグループワークを通してインプットからアウトプットにつなげる活動もします。

到達目標

- (1) 論理的なパラグラフを書くことができる。
- (2) 語彙力や文法力を向上させる。
- (3) リスニング力を向上させる。
- (4) 積極的に英語でコミュニケーションすることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	到達目標 (1) (2) (3) について、期末試験で30%として評価。
レポート課題		
上記以外	70%	到達目標 (1) (2) について、エッセーテストを2回行い、40%として評価。 到達目標 (2) (3) (4) について、指示した活動や課題で20%として評価。 到達目標 (2) (3) についてTOEICのスコアで10%として評価。

授業外学習

学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Smart Writing	Miyako Nakaya他	SEIBIDO	978-4-7919-6032-3
2				
3				

辞書を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (環境)						担当教員	菰田 真由美
講義コード	1110661	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

この授業では、外国人が実際に体験する日本文化の現地レポートと、様々な国の出身者が自国文化と日本文化の違いを語るディスカッションの映像を見て、世界各国の多様な文化背景を持つスピーカーの考えに触れ、日本文化を再認識し、世界へ向けて英語で発信する力を養う。

到達目標

- (1) 語彙力を増強する。
- (2) 英語母語話者および非母語話者による英語を聞き取り、ペアまたはグループ・ワークによって自分の考えを述べる。
- (3) 日本文化を紹介する映像を視聴し、その内容を理解する。
- (4) 日本事象について英語で発信することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標(4)については、レポート課題によって評価する
上記以外	60%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(30%)、到達目標(2)(3)については、授業中の活動への積極的な参加(30%)によって評価する。

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。授業中の携帯電話の使用は認めない。

授業外学習

毎週の授業について、web動画による視聴および音読を行い、復習をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Discovering Cool Japan	Akiko Tusuda他	成美堂	978-4-7919-7187-9
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (環境)						担当教員	菰田 真由美
講義コード	1110662	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

この授業では、NHK World Japanの海外向けニュース番組NEWSLINEを視聴し、国内のニュースを英語で理解し、さらに発信する力を養成する。

到達目標

- (1)時事問題に関する語彙および身近な日本語に対する英語表現を習得する。
- (2)ニュースを聞いて正しくその内容を理解することができる。
- (3)正しい発音とイントネーションを身に付け、ニュースを音読することができる。
- (4)ニュースの内容について自分の意見を英語で述べるすることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(4)については、発表及びワークシートの提出で評価する。
上記以外	60%	到達目標(1)については、授業内の小テスト(30%)、到達目標(2)(3)については、授業中の活動への積極的な参加(20%)によって評価する。さらに後期に受験するTOEICスコア(10%)を組み込む。

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。授業中は携帯電話等の通信機器の使用は認めない。また、居眠りや私語、内職等は減点対象となる。

授業外学習

毎週の授業後、各ユニットの映像をオンラインで視聴し、リスニング及びシャドウイング練習を行うこと。さらに、毎週実施する小テストに備えて語彙を覚えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NHK Newsline2	Tatshuro Yamazaki	金星堂	978-4-7647-4072-3
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（環境）						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110671	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

この授業は、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を精確に読み取る力（リーディング）、理解し考えたことを英語で表現する力（ライティング）、口頭での英語発表のやり取りを行う力（スピーキング＋リスニング）を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってもらいますが、小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

到達目標

- （１）自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- （２）口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- （３）自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を精確に読み取る力を身につける

成績評価

種別	割合（％）	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標（１）について、中間および最終発表によって評価（25％） 到達目標（２）について、中間および最終発表によって評価（25％） 到達目標（１）（２）（３）について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価（50％）

正当な理由がなく全クラスの１／３以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻３回で欠席１回、30分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	プロジェクト発信型英語 1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書が電子辞書を用意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (環境)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110672	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

この授業は、前期に引き続き、英語を使うことによって英語を学ぶ、プロジェクト中心の演習クラスです。これまで学んできた英語のスキルと知識を活かして、自分にとって関心のある事柄についてさらに詳しく調べ、必要な情報を精確に読み取る力（リーディング）、理解し考えたことを英語で表現する力（ライティング）、口頭での英語発表のやり取りを行う力（スピーキング+リスニング）を高めます。また、プロジェクトは各自で責任をもって行ってもらいますが、小グループで互いにアドバイスをし合い学び合って、より良いものをめざします。

到達目標

- (1) 自分が調べた内容をまとめて表現するライティング力を身につける
- (2) 口頭発表を行い、Q&Aなどで英語でやり取りをする力を身につける
- (3) 自分にとって関心のある事柄について調べ、必要な情報を精確に読み取る力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標 (1) について、中間および最終発表によって評価 (15%) 到達目標 (2) について、中間および最終発表によって評価 (25%) 到達目標 (1) (2) (3) について、毎週の課題とクラスでの取り組みによって評価 (50%)

正当な理由がなく全クラスの 1 / 3 以上欠席した場合、評価の対象としません。なお、遅刻 3 回で欠席 1 回、30 分以上の遅刻は欠席として扱います。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	プロジェクト発信型英語 1	鈴木佑治	南雲堂	9784523177357
2				
3				

辞書と教科書は、必ず初回授業から持ってくる。辞書は、原則、紙の辞書が電子辞書を用意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

後期から初めてこのクラスを履修する場合は、前期の内容について説明しますので、テキストのUnit 1~15をよく読んだ上で、最初の授業前に面談の予約をしてください。

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（環境）						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110681	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおり、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)に関しては、期末試験で評価します(60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し(20%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（環境 ）						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110682	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標（ 1 ）に関しては、期末試験で評価します（ 60% ）。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標（ 2 ）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し（ 20% ）、到達目標（ 3 ）に関しては、各回の小テストで評価します（ 20% ）。

出欠状況は毎回確認します。授業を 4 回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境a）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130010	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業概要

情報処理技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学ぶ上で情報処理のリテラシーを習得しておくことは必須である。本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、電子メール、文書処理などをMS Windows環境下で習得するとともに、情報倫理についても学ぶ。そして、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトによる成果発表の手法を習得する。

到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができること。さらに、情報倫理について理解を深めること。
- (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に議論を展開し結論づけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること。情報倫理についても理解を深めること、(2)論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること、(3)設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることがで
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	9784130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力に慣れておくこと。

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境a）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130010	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	情報処理環境の基本構成と操作	・ 情報処理（演習室）環境の基本構成と利用方法 ・ パスワードの設定
第2回	情報処理環境の慣熟操作と各種設定	・ 情報処理（演習室）環境の慣熟操作 ・ 電子メールおよびインターネット環境の設定
第3回	情報倫理について ～情報の保護と責務～	・ 個人情報の管理とインターネット使用上の留意点 ・ 電子メールの使い方について
第4回	図書館活用ガイダンス	・ 資料検索ツールおよび図書館での資料検索技術の習得
第5回	文書作成ソフトウェアの基礎	・ 文書作成ソフトウェアの起動と作成文書の保存(先) ・ USBへのファイル保存，読み出し，削除，等
第6回	表現の形態 ～論文を書くとは～	・ 論文を書くとはどのようなことか，レポートとの相違点 ・ レポートを書くときの注意点，論文の標準的なスタイル．
第7回	論文作法 - 1 ～書式設定の詳細～	・ 文書を入力する（書く）前に必要なこと ・ 書式設定の詳細（マージン，フォントとサイズ，段組，等）
第8回	論文作法 - 2 ～論文の構成～	・ 具体的な入力法（章だて，段落，脚注，インデント，等）
第9回	論文作法 - 3 ～Excel による表データの可視化	・ 作表および表データの可視化 ・ エクセルからの可視化データの読み込み，等
第10回	論文作法 - 4 ～論文の形式～	・ 論文の形式と文章の特徴（文体）
第11回	情報倫理について ～剽窃は犯罪～	・ 情報発信と著作権侵害 ・ 知的財産権について
第12回	論文作法 - 5 ～剽窃防止と文献引用～	・ 剽窃防止の徹底と文献引用の仕方について ・ 知的所有権と情報へのアクセスの確保
第13回	論文作法 - 6 ～論文発表の基本～	・ パワーポイントを用いた論文発表の基本とその注意点
第14回	表現の形態 ～まとめ～	・ 論文作法のまとめ ・ 作成課題（「表現の形態～論文を書くこと」）の印刷
第15回	課題レポートの準備	・ 課題レポート（小論文）について

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境b）						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130020	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

（１）情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。
（２）学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境c）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130030	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業概要

情報処理技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学ぶ上で情報処理のリテラシーを習得しておくことは必須である。本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、電子メール、文書処理などをMS Windows環境下で習得するとともに、情報倫理についても学ぶ。そして、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトによる成果発表の手法を習得する。

到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができること。さらに、情報倫理について理解を深めること。
- (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に議論を展開し結論づけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること。情報倫理についても理解を深めること、(2)論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること、(3)設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることができる。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	9784130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力に慣れておくこと。

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130040	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（環境a）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130140	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術を含む情報リテラシーの習得を前提とし、高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。
特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や基礎的な統計技法等について学ぶ。
さらに、学術論文作成のための基本的なデータ処理手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。
- (2) 表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。
- (3) What-If分析を理解し、応用できる。
- (4) 回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。
- (5) アンケート分析の手法を理解するとともにクロス集計等ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。(2)表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。(3)What-If分析を理解し、応用できる。(4)回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。(5)アンケート分析の手法を理解すると
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル(浅井・村上 訳)	培風館	978-4563008390
2				
3				

授業中に随時担当教員から示される。

前提学力等

レポートと学術論文の基本概念を理解(講義「情報リテラシー」を修得)していること。
初等統計学の基礎を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	情報科学概論（環境a）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130140	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	表計算ソフトの概要とデータサイエンス	・ Excel機能のいくつかの重要なポイント ・ ビッグデータとA Iについて
第2回	セルの概念と基本操作	・ カーソルの形と意味、文字列、数値、数式、書式設定 ・ データの移動・複写・変更・消去、等
第3回	行と列の基本操作	・ 行・列データの計算、数式を自分で書くvs組込関数群 ・ 表の装飾、表データの可視化
第4回	What-If分析 - 1	・ ケーススタディ・モデル ・ 相対番地と絶対番地
第5回	What-If分析 - 2	・ 利益計画シミュレーション ・ シナリオマネージャ
第6回	What-If分析 - 3	・ Diet Planモデル ・ IF文とゴールシーク
第7回	回帰分析	・ 分析ツール ・ 相関図と回帰分析、回帰直線、最小2乗法
第8回	単回帰分析	・ 度数分布表と散布図 ・ グラフに合う回帰直線の式、重決定係数
第9回	重回帰分析	・ 分析ツールと説明変数が2つの場合 ・ p値の理解
第10回	演習（課題） ～表にまとめて可視化する～	・ 課題の演習
第11回	データ集計 - 1	・ アンケート分析の方法 ・ 頻度の集計、合計・平均、階級別ヒストグラム化
第12回	データ集計 - 2	・ クロス集計とピボットテーブル ・ 集計方法
第13回	データベース機能 - 1	・ リレーショナルデータベース ・ ソーティングと検索
第14回	データベース機能 - 2	・ フィルタリング ・ マクロ処理（プログラミング）
第15回	まとめ	・ Excel と Word の連携による文書等作成

講義名	情報科学概論（環境b）						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130150	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（環境c）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130160	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術を含む情報リテラシーの習得を前提とし、高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。
特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や基礎的な統計技法等について学ぶ。
さらに、学術論文作成のための基本的なデータ処理手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。
- (2) 表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。
- (3) What-If分析を理解し、応用できる。
- (4) 回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。
- (5) アンケート分析の手法を理解するとともにクロス集計等ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。(2)表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。(3)What-If分析を理解し、応用できる。(4)回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。(5)アンケート分析の手法を理解すると
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル（浅井・村上 訳）	培風館	978-4563008390
2				
3				

授業中に随時担当教員から示される。

前提学力等

レポートと学術論文の基本概念を理解（講義「情報リテラシー」を修得）していること。
初等統計学の基礎を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	情報科学概論（環境d）						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130170	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101INF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得しレポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	環境行動論/						担当教員	迫田 正美
講義コード	1150050	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312PEL302-C, 313ARC208							

授業概要

本講義では、前半は基礎的学習として、人間の行動と空間、身体と環境との関係について考察するために必要な基本的な知識を習得するとともに、人間行動と環境との密接な関連性について講述する。後半では行動の場所としての環境、行動的実践の結果としての環境の形成、及び行為の規範としての慣習や文化の形成と風土性、風景との相互連関について講述する。

到達目標

- (1) 人間の行動と環境（社会・文化的コンテキスト）の相互作用について事例を挙げて述べることができる。
- (2) 環境と行動に関する基礎的な知識について説明することができる。
- (3) 毎回の講義のテーマについて適切な質問または意見を述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	55	(1) (2)
レポート課題	45	(3)
上記以外		

授業外学習

講義で示した参考文献・資料について目を通すこと

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境と人間-生態学的であることについて	滋賀県立大学環境ブックレット4	サンライズ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	かくれた次元	E.T. ホール	みすず書房	
2	発生的認識論	J. ピアジェ	白水社	
3	生きた隠喩	P. リクール	岩波書店	

資料、参考書は適宜講義の中で配布、提示する。『視覚ワールドの知覚』J.J. ギブソン、『精神科学における歴史的世界の構成』W. デイルタイ、

前提学力等

履修資格

講義名	人間探求学（環境政策・計画）						担当教員	学科教員／金谷 健／井手 慎司／ 高橋 卓也／香川 雄一／林 宰司／ 上河原 献二／村上 一真／平山 奈央子／
講義コード	1150300	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101HUM101							

授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探究し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。

- 各教員が、以下のことをねらいとして独自のプログラムを工夫する。
- ・大学で学ぶことの意義付け、人生における位置付け等について考えさせる機会とする。
 - ・高校の教育課程から大学の教育課程にスムーズに移行できるようにする（受け身的な教育→自発的に学ぶ姿勢）。
 - ・教員や他の学生のもの見方、考え方に直接触れ、触発される機会を提供する。
 - ・教育の原点である人間と人間のふれあいの機会をつくる。
 - ・人権感覚を磨く。

到達目標

(1)自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養う、(2)多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける、(3)人権感覚を磨く。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	55%	到達目標の(1) , (2) 45% 到達目標の(3) 10%
上記以外	45%	プレゼンテーション 到達目標の(1) , (2) 45%

到達目標の(1)～(2)はレポート（45%）およびプレゼンテーション（45%）、(3)はレポート（10%）で各担当教員が評価を行う。

授業外学習

教科書				
No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導教員より適宜指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	G I S 演習						担当教員	香川 雄一
講義コード	1200050	単位数	1	開講期	後期	授業種別	実習	
ナンバリング番号	212ETR303							

授業概要

GIS（地理情報システム）は現在計画分野で活用されつつある。その基本を学び、GISを環境計画に応用するためのデータ作成方法、データ解析および表示方法について課題演習を通して学習する。

到達目標

- (1) GISの仕組みについて理解することができる。
- (2) GISソフトを操作することができる。
- (3) GISを利用するためのデジタル地図を選択することができる。
- (4) GISを用いてオリジナルな主題図を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	・GISを利用するためのデジタル地図を選択することができる。（10%） ・GISを用いてオリジナル主題図を作成することができる。（50%）
上記以外	40	・GISの仕組みについて理解することができる。（10%） ・GISソフトを操作することができる。（30%）

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
4回以上欠席した場合は、課題をすべて提出しないと評価の対象としない。

授業外学習

授業の進度にしたがって小レポートを数回提出する。課題に必要な作業を宿題として出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図解！ArcGIS 10 Part1	佐土原聡編	古今書院	9784772241564
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Windowsを扱えること。

履修資格

講義名	環境政策デザイン論・演習						担当教員	瀧 健太郎
講義コード	1200102	単位数	3	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	312ETR302-C							

授業概要

政策デザインの基礎能力について演習を通じて身に着ける。
 演習では、環境課題を取り扱う行政・NPO・民間企業など外部機関の担当者を招き、実社会で顕在化する課題の提供を受ける。それらの課題に対し、これまで大学で学んださまざまな手法を駆使し、グループワークにより具体的な解決策を検討する。そして、検討内容を取りまとめ政策提案とし、実際に課題提供者へのプロポーザルを行う。
 平成29年度は、滋賀県らしい観光政策のあり方と今後の展開、ピワイチによる地域活性化の方策、せっけん運動50周年に向けた展開をテーマとして検討を行った。平成30年度のテーマは初回授業で発表する。

到達目標

- (1) 客観的根拠に基づき政策課題を提案するプロセスを身に着ける。
- (2) 課題解決に向け、実行可能な道筋を見出すプロセスを身に着ける。
- (3) 計画をまとめ実施するプロセスを身に着ける。
- (4) 政策評価を行い、改善点を整理するプロセスを身に着ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)(2)(3)(4)について、班ごとのプロポーザルおよび報告書提出(各25%)により評価する。

届けなき欠席については1回あたり5点減点する。また、3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜提示または配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜提示または配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	応用数学						担当教員	井手 慎司
講義コード	1200150	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112BTR202							

授業概要

数式化された問題をいかに解くかを、技術士試験問題を例題として解説する。

到達目標

- (1) 逆三角・複素関数の問題が解ける。
- (2) 微分・高次微分・偏微分の問題が解ける。
- (3) 極限と級数の問題が解ける。
- (4) 積分・微分方程式の問題が解ける。
- (5) ベクトル・行列の問題が解ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標で示す(1)(2)(3)については、定期試験(30%:(1)10%,(2)10%,(3)10%)、(4)については定期試験(20%)、(5)については定期試験(20%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	30	到達目標で示す(1)(2)(3)については、中間試験(15%:(1)5%,(2)5%,(3)5%)、(4)については中間試験(5%)、(5)については中間試験(10%)で評価する。

中間試験を実施する。中間テストでは、H15-24の問題1から10の100問の中から10問だす。
定期試験はH15-24の全200問から20問だす。

授業外学習

毎週、グループ毎に次週までに解いてくる課題を1題ずつ課す。
おそらく授業では100問前後を解くのがやっとなだろう。授業中に解説している問題が解ける者は授業を聞いている必要はない。自分で新しい問題を

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	科学技術者のための基礎数学	矢野健太郎・石原繁	裳華房	978-4-7853-1035-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校数学で数・Bまでの基礎学力をもつこと。
高校で数 までやっていない学生は、基礎数学 と を履修することが望ましい。

履修資格

講義名	応用統計学						担当教員	白木 裕斗
講義コード	1200160	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212BTR301							

授業概要

社会現象における状況認識や問題発見、そしてその解決には、地域・社会調査により得られた情報、あるいは既存の統計資料を用いたデータ分析が重要となる。本授業では、講義により統計学の知識を習得するとともに、統計解析ソフトを用いたデータ分析の演習を行う。統計学に関する用語を理解した上で、推定や検定などの統計データの扱い方に進む。また、統計分析の解釈に必要な相関関係や回帰分析についても自ら実施できるようにする。

キーワード：基本統計量、回帰分析、確率・分布、検定・推定

この科目は社会調査士資格・地域調査士資格を取得する際に必要となる認定科目である。

到達目標

- (1) 統計学的手法（特に検定・推定）について理解できるようになる。
- (2) 実際の問題・データに対して統計学的手法を応用し、分析できるようになる。
- (3) 分析した問題を考察し、レポートとしてまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標(2)・(3)については最終レポート((2)30%、(3)30%)により評価する
上記以外	40%	到達目標(1)については毎回の課題で評価する

授業外学習

配布資料や参考書などを用いて予習・復習をすることが望ましい。
また、毎回の課題を行う際に、授業内容についてしっかり復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	入門統計学	栗原伸一	オーム社	978-4274068553
2	統計学が最強の学問である	西内啓	ダイヤモンド社	978-4478022214
3				

上記以外の統計関連書籍も参考になります。

前提学力等

「基礎統計」の内容を十分理解していること。
MS Excelの基本的な操作ができること（入力・演算・関数の利用など）。

履修資格

講義名	応用統計学						担当教員	村上 一真
講義コード	1200170	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212BTR302							

授業概要

この授業では、応用統計学 で取得した統計学についての基礎知識を踏まえ、より高度な統計技法、具体的には多変量解析（多変量解析の概要、重回帰分析、判別分析、因子分析、主成分分析、クラスター分析）の方法を理解すること、および多変量解析の環境問題の調査研究への適用事例概要を理解することを、ねらいとする。授業は、講義およびパソコン演習（統計ソフト使用）形式で行う。

到達目標

(1)統計学の基礎理論を理解し、応用分析に用いることができるようになる、(2)基本統計量を理解し、統計的思考・判断ができるようになる、(3)統計分析のソフトウェアを使用することができ、応用分析ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)について、それぞれ平常点5(15/3)％、レポート11.7(35/3)％、中間まとめ8.3(25/3)％、期末試験8.3(25/3)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)について、それぞれ平常点5(15/3)％、レポート11.7(35/3)％、中間まとめ8.3(25/3)％、期末試験8.3(25/3)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

レポート12回

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	RとRコマンダーではじめる多変量解析	荒木孝治	日科技連	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	入門はじめての多変量解析	石村貞夫・石村光資郎	東京図書	
2				
3				

前提学力等

応用統計学 の内容をほぼ理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境アセスメント						担当教員	錦澤 滋雄 / 柴田 裕希 / 杉本 卓也
講義コード	1200300	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211FFM207, 312ETR305, 313ARC305, 314BRM394							

授業概要

環境アセスメントは、開発行為などに伴う環境・社会影響に配慮し、社会とのコミュニケーションを通じて、行政による最適な意思決定を支援する重要な手段である。本講義では、その制度体系と適用事例に基づく実務を論じる。具体的には、アセスの意義や方法論を法や条例の規定内容、それらが導出されるに至った歴史的経緯を踏まえて解説する。方法論については、調査・予測・評価の方法について、大気環境、動植物、景観などを題材に学ぶ。コミュニケーションの観点からは、市民参加や社会的な合意形成の問題も解説する。国内の状況だけでなく、欧米諸国の先進的な制度や実施状況について、新しいアセスである戦略アセスや持続可能性アセスの考え方について、米国における取り組みを中心に紹介する。

到達目標

- (1) 環境アセスメントとは何か、アセスの目的と要件を説明できる。
- (2) 調査・予測・評価の具体的手法とその問題点について説明できる。
- (3) 国内外のアセス法制度の概要、日本の制度の位置づけや課題を説明できる。
- (4) SEA / SAの意義や特徴を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	25	期末レポートを課す。
上記以外	75	授業中の課題・当日ブリーフレポートなどを課す。

授業外学習

環境アセスメントに関する本や論文の他に具体事業で作成された環境アセスメントの図書（方法書、準備書、評価書）を読むことでアセスの実際をより深く学ぶことができる。下記の環境省が提供するアセス支援ネットのページなどで閲覧できる。これらの情報はレポート執筆にも役立つ。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	改訂版・環境アセスメント	原科幸彦	放送大学教育振興会	
2	都市・地域の持続可能性アセスメント	原科幸彦・柴田裕希他	学芸出版社	
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

履修資格

講義名	環境会計						担当教員	藤近 雅彦
講義コード	1200330	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312ETC302,314BRM391							

授業概要

環境会計とは、企業の環境問題に対する取り組みを会計的に分析・開示することを目的とする学問領域です。企業は様々な事業活動を通じて地球環境に影響を及ぼす反面、その解決に向けても大きな役割を果たしている存在です。本講義では企業経営と環境との関係を理解したうえで、環境会計の理論及び環境管理などの実務について概略的な理解を深めることを目的とします。とくに企業の事業活動については、初歩的なことから理解できるように努めます。さらに後半では、近年注目されている企業の社会的責任（CSR）論についても、議論してゆきます。

到達目標

- (1) 環境会計の理論的枠組みが説明できる。
- (2) 環境報告の理論的・実務的背景が説明できる。
- (3) 企業の環境保全への取り組みが理解できる。
- (4) CSRの概要について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	「到達目標」の(1)～(4)について、講義全体を通じての達成度を評価するために筆記試験を実施します。
レポート課題	40	概ね6回前後と11回前後の都合2回、レポートを課します。
上記以外		

授業外学習

環境会計の入門書として最適の書籍をテキストに選定しています。講義の前に読んでおいてください。また、インターネットなどを利用して、関心のある企業の環境報告書（CSR報告書、サステナビリティ報告書を含む）を入手して読んでおけば、授業に対する興味がより高まるでしょう。また

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経営・会計（第2版）	國部克彦・伊坪徳宏・水口剛	有斐閣	978-4-641-12469-1
2				
3				

【注意】一部の書店やネットなどでは上記テキストの初版本（『環境経営・会計』（2007））も販売されているので、注意してください。なお講義

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	BLUE EARTH COLLEGE ようこそ「地球経済大学」へ。	東京都市大学環境学部	東急エージェンシー	978-4-88497-123-6
2	CSRの基礎 企業と社会の新しいあり方	國部克彦＋神戸CSR研究会	中央経済社	978-4-502-22541-3
3				

前提学力等

「環境経営論」「環境マネジメント演習」をすでに履修しているか、同年度に履修すれば、より理解が深まるでしょう。

履修資格

講義名	環境会計							担当教員	藤近 雅彦
講義コード	1200330	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	312ETC302,314BRM391								

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション 企業活動と環境問題	地球環境問題に企業の活動がどのような影響を及ぼしているのか。また、それに対して「会計」という機能がどう関与しうるのかについて概観します。
第2回	環境経営と会計システム	テキスト第1章「環境経営と会計システム」に基づいて、環境経営の考え方と3つの要件について学びます。
第3回	環境管理会計(1)	テキスト第2章「環境管理会計」に基づいて、環境管理会計の概要、対象範囲と体系について学びます。
第4回	環境管理会計(2)	テキスト第2章「環境管理会計」に基づいて、投資意思決定や原価企画など環境に配慮した管理会計の手法について学びます。
第5回	マテリアルフローコスト会計(1)	「マテリアルフローコスト会計」は、2011年に国際規格化された資源生産性向上を目的とする環境管理の手法です。テキスト第3章「マテリアルフローコスト会計」に基づいて、その概要と意義を学びます。
第6回	マテリアルフローコスト会計(2)	「マテリアルフローコスト会計」の導入事例をもとに、その効果を学びます。「ライフサイクルアセスメント」は、製品等の環境影響についてライフサイクルの視点から定量的に
第7回	環境情報開示と環境報告書(1)	環境経営を進めるにあたっては、環境情報の開示が重要です。テキスト第8章「環境情報開示と環境報告書」に基づいて、環境アカウンタビリティの考え方と開示手法について学びます。
第8回	環境情報開示と環境報告書(2)	前回に引き続き、テキスト第8章「環境情報開示と環境報告書」に基づいて、環境アカウンタビリティの中心的手法である環境報告書について学びます。また企業情報の新しい開示手法である統合
第9回	環境イノベーションと環境マーケティング	環境を軸とした付加価値創造の手法として、環境イノベーションと環境マーケティングについて概観し、故国内企業における事例を通じてその実践を確認します。
第10回	外部環境会計	「外部環境会計」は、環境保全活動の内容と効果について、社外に向けて定量的に報告する手法です。テキスト第9章「外部環境会計」に基づいて、その概要を学びます。
第11回	コクヨ工業滋賀の環境経営	滋賀県を代表する環境共生型企業の一つ、コクヨ工業滋賀で環境配慮製品の企画・開発やマーケティングを担当している方(本学のOGです)をお招きし、同社の環境経営の実践についてご講演いただく。
第12回	資本市場と環境問題(1)	環境経営の促進に対して、資本市場の動きは大きな影響を与えます。テキスト第11章「資本市場と環境問題」に基づいて、社会・環境にも配慮した投資(SRI)の概要を学びます。
第13回	資本市場と環境問題 (2)	第11回に引き続き、テキスト第11章「資本市場と環境問題」に基づいて、国連責任投資原則や赤道原則などより進化したSRI、及びESG投資の概念について学びます。
第14回	環境経営からCSR経営へ(1)	「CSR」とは、企業の社会的責任を意味します。、テキスト第12章「環境経営からCSR経営へ」に基づいて、環境、社会、経済の3つの側面に配慮した「CSR経営」の考え方を学びます。
第15回	環境経営からCSR経営へ(2) まとめ	前回に引き続き、「CSR経営」について学びます。最後に講義全体を振り返って、企業と社会課題との接点について考えます。

講義名	環境化学						担当教員	丸尾 雅啓
講義コード	1200370	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	111DFM109, 312PEL304, 114BRM121							

授業概要

環境科学の学習、および教員を目標とするにあたり、必要な化学の基礎知識について、物理化学、無機化学を中心に講義する。高等学校で現象のみ扱っていた事項に関し、原理・法則に基づいた理解を深める。また実際の環境での化学物質の形態や変化に適用するための考え方について学ぶ。

各到達目標の達成を目的とした宿題・講義時間内の演習を課す。これに定期試験の成績をあわせて評価する。課題の添削補助、講義時間内の演習等のより確実な理解を促すための教育補助員制度を採用して授業を展開する。

到達目標

- 1) 化学で用いる基本的法則・表記法を理解し、適用できる。
- 2) 物質の三態と各々の構造、実在気体における状態方程式を理解する。
- 3) 化学平衡を理解し、溶解平衡、酸塩基平衡の概念を理解して種々の系に応用できる。
- 4) 酸化還元電位、酸化還元平衡の概念を理解し、実際の系に適用できる。
- 5) 反応速度、反応機構における律速段階を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	
レポート課題	40	
上記以外		

授業外学習

テキスト：新版 大学生の化学（大野惇吉著：三共出版）

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版 大学生の化学：第2版	大野惇吉	三共出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	メイン大学の化学 第2版（絶版：図書館にあり）	メイン	広川書店	
2	元素発見の歴史 1・2・3	大沼正則 訳	朝倉書店	
3				

講義に関連する内容、課題を含んだプリントを配布します。

前提学力等

高等学校「化学基礎」・「化学」を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境科学概論						担当教員	小泉 尚嗣 / 籠谷 泰行 / 泉 泰弘 / 後藤 直成 / 高倉 耕一
講義コード	1200390	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	111FFM103, 112BTR101, 113ARC102, 114BRM101							

授業概要

地球環境を構成する要素と環境変化の時空間スケールを把握した上で、土壌環境ならびに陸域・水域生態系の基本的構造とこれらに見られる今日的な諸問題について学ぶとともに、これからの食料確保と環境保全のあり方を展望する。

到達目標

環境変動の仕組みについて基本的な理解を得るとともに、自然環境と人間活動の関わり方について深く考察できる能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	期末試験の成績により評価する。
レポート課題	40	各担当教員の実施する小テストの結果を積算して評価する。
上記以外		

毎回出欠を確認する。各担当教員は授業内容について小テストを実施する。

授業外学習

授業をきっかけにして自分で参考書類を読むなどしてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：使用しない。プリントした資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：講義の中で必要に応じて紹介する。

前提学力等

高校理科習得程度。

履修資格

講義名	環境科学概論						担当教員	瀧 健太郎 / 伊丹 清 / 井手 慎司 / 増田 清敬 / 上河原 献二 / 芦澤 竜一
講義コード	1200400	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	111FFM104, 112BTR102, 113ARC103, 114BRM102							

授業概要

多様な形で生じる環境問題は、社会の仕組みや制度と密接な関係を持っている。環境問題の解明と解決のために必要な社会的な視点やアプローチ方法について、具体的問題を取り上げながら教授する。

到達目標

次に例示するような環境問題の社会的側面について多面的に理解し説明できること。
A 環境問題を解決することの難しさを社会的ジレンマ構造によって説明できる。
B 農業が環境に及ぼす正負の影響とそれらに対する政策対応について説明できる。
C 地球環境問題と持続可能な開発の基本的な事項について説明できる。
D 建築と環境との関わりを多角的に説明できる。
E 流域社会で顕在化する課題、および減災の考え方について説明できる。
F すまうという行為と環境との関わりを多面的に説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	環境問題の社会的側面について多面的に理解し説明できること
レポート課題		
上記以外	50%	各回の小テスト

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境学原論/						担当教員	村上 修一
講義コード	1200440	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212BTR201							

授業概要

本科目は、専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる、川の問題をとりあげる。まず、国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。次に、川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。その上で、川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

到達目標

- (1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
- (2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。
- (3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標 (1) : ワークシート1 (30%) 到達目標 (2) : ワークシート2 (30%) 到達目標 (3) : ワークシート3 (40%)

ワークシート1, 2, 3は、それぞれ第5, 10, 14回の授業時間内に履修生が記述し、回収される。第6, 11, 15回に解説が行われ、履修生は理解を深める。

授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票—市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学—吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田滋 他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境監査						担当教員	池北 實
講義コード	1200480	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211FFM204, 312ETR303, 313ARC304, 314BRM392							

授業概要

地球温暖化防止をはじめとした環境問題の解決には、各組織の継続的な取り組みが欠かせない。このためには、経営に環境マネジメントシステムを導入することが不可欠とされ、多くの組織で導入されている。一方、マネジメントシステムには公正性と透明性が必要である。その健全性を確保し運用の実態を検証するために監査が必要となる。

本講では、環境マネジメントシステム（ISO14001）及び環境監査（ISO19011）を中心に学び、環境マネジメントシステム及びそのチェック機能としての環境監査のあり方や手法を理解する。更に、環境政策、企業の環境対応の現状、森林認証など監査（認証）の多様性を学ぶ。

キーワード：環境監査、内部監査、環境マネジメントシステム、ISO14001、ISO19011

到達目標

- （１）地球環境問題及び対応する取り組み並びに環境管理に関する国際規格について概要を説明できる。
- （２）環境監査の基準となるISO14001環境マネジメントシステム規格について、全体構築を含めて説明できる。
- （３）ISO19011マネジメントシステム監査のための指針に準拠した内部環境監査の運用を説明できる。
- （４）多様な分野における各種マネジメントシステムの特徴や政策科学の視座での手法を説明できる。

成績評価

種別	割合（％）	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	（１）第１回～第２回：１回の小テスト１０％ （２）第３回～第６回：１回の演習１５％、１回の小テスト１５％ （３）第７回～第１２回：１回の演習２０％、１回の小テスト２０％

授業外学習

小テストの一つは、内部環境監査の理解度テストとして位置づけて、「内部環境監査員養成講座修了証」授与の条件にもなります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは、毎回講義でプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

鈴木敏央著「新・よくわかるISO環境法」（ダイヤモンド社）

前提学力等

履修資格

講義名	環境経営学					担当教員	高橋 卓也
講義コード	1200555	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

企業は環境破壊について多大な責任を有する一方、そのダイナミックな革新能力によって問題解決への貢献をなしうる。この授業では、企業経営者または株主（所有者）の視点に限定されことなく、従業員、政府、社会全体の視点からも、企業と自然環境の関係をいかに改善するかについて考えていきたい。その枠組みとして、経済学、経営学、政治学、社会学といった社会科学の諸分野を援用する。

到達目標

(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快地説明できるようになる。(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快地説明できるようになる、および(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる、については、期末筆記試験（50%：(1)25%、(2)25%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快地説明できるようになる、および(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる、については、各回の参加および課題作業内容（20%：(1)10%、(2)10%）、事例報告（30%：(1)15%、(2)15%）で評価する。

授業外学習

指定図書、参考図書の指定部分の予習復習。事例研究報告のための準備。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境計画学						担当教員	瀧 健太郎
講義コード	1200560	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212BTR203, 313ARC206							

授業概要

講義前半は、数理計画法を基礎を学び、計画立案の実務のベースとなる技能を習得する。進捗に応じて講義内容に関する小テストを2回実施し習得度を確認する。講義後半は、自然環境と社会経済活動との関係性に着目しながら、環境計画の歴史的変遷、意義・分類・手法・実例を体系的に解説する。

到達目標

- (1) 国内の主要な環境計画の変遷と目的・内容について体系的に説明できる。
- (2) 代表的な数理的計画手法を習得する。
- (3) 計画策定プロセス・進行管理について体系的に説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)(2)(3)について、定期試験で評価する。 (1) 15% (2) 30%
レポート課題		
上記以外	40	到達目標(1)(2)(3)について、小テストで評価する。 (1) 10% (2) 20%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。届けのない欠席については、一回5点の減点とする。

授業外学習

毎回、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義ごとに配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境計画・政策研究の展開 - 持続可能な社会づくりへの合意形成	原科幸彦	岩波書店	4000224735
2	新版数理計画入門	福島雅夫	朝倉書店	4254280041
3	土木計画学ー公共政策の社会科学	藤井聡	学芸出版社	4761531665

前提学力等

履修資格

講義名	環境経済演習						担当教員	林 宰司
講義コード	1200571	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	112ETR202							

授業概要

本科目では経済学の基本的な考え方、思考方法を身につけ、環境を経済学的に分析できるようになることを目的とする。経済学は他の学問分野に比べて、独特な思考方法や概念、専門用語、論理構成が多く、初学者にとっては近づきたい側面があるかもしれない。本科目ではこのような経済学独特の考え方について解説するとともに、環境分析の際に経済学的思考ができるための準備をする。

到達目標

(1)経済学の基本的な考え方・思考方法を身につけ、環境問題を経済学的に分析・説明できるようになること。(2)経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、環境問題について、定性的・定量的分析ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標 (1)30% , (2)30%
レポート課題	20%	到達目標 (1)10% , (2)10%
上記以外	20%	講義時間中に実施するテスト 到達目標 (1)10% , (2)10%

授業外学習

毎回、予復習をしっかりと行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公務員試験過去問新クイックマスターミクロ経済学 第7版	東京リーガルマインド LEC総合研究所 公務員試験部	東京リーガルマインド	978-4-8449-0649-0
2				
3				

教科書については、改訂された場合、新しい版を使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境経済学						担当教員	林 宰司
講義コード	1200580	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312ETC303, 214BRM291							

授業概要

環境経済学の基礎理論と、その環境政策への応用を学ぶ。環境経済学は応用経済学の一分野であり、経済学的な思考方法を習得することが前提となる。そのための基本的な経済学の概念お理解は避けて通れない。ひとつの理論体系を習得することがねらいであるので、毎回の予習・復習、講義時のノート・テイキングは不可欠である。毎回の講義内容の理解の積み重ねが重要なので、理解不十分な点に関しては放置せず、各回ごとに必ず質問し、解決すること。

到達目標

- (1)経済学の基礎理論を理解し、環境問題の現象が起きるメカニズムを説明できること。
(2)環境問題を理論的に分析でき、環境政策の評価を定量的・定性的に行うことができること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	到達目標 (1)35%, (2)35%
レポート課題	30%	到達目標 (1)15%, (2)15%
上記以外		

授業外学習

毎回、予復習をしっかりと行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	グラフィック環境経済学	浅子和美, 落合勝昭, 落合由紀子	新世社	978-4-88384-221-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

環境経済学入門および経済学 の内容を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境経済学入門						担当教員	高橋 卓也 / 林 宰司
講義コード	1200581	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211FFM203, 112ETC101, 113ARC203, 114BRM194							

授業概要

人間社会にとっての環境問題を考察、解決するうえで、経済学的思考は強力なツールとなりえる。また、現代社会に生きる市民として、経済学は必要不可欠な一般教養でもある。本講義では、環境問題、資源問題を具体的に紹介し、経済学的思考に触れ、今後、どのような学びが必要かについて自覚してもらうことを目標とする。具体的問題としては、公害、地球温暖化、廃棄物、再生可能天然資源（森林、水産業）、非再生天然資源（鉱業）、土地利用などを取り扱う。それぞれの問題を中心の話題として講義を進める。この授業は、環境経済、環境経営系の一連の授業の導入にあたる。

到達目標

- (1)環境・資源問題に応用される経済的政策手法のうち、簡単な事例について説明できるようになる。
(2)経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、環境・資源問題について定性的・定量的な予測・評価ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)および(2)について、試験（50%：(1)25%、(2)25%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)および(2)について、各回の課題作業（50%：(1)25%、(2)25%）で評価する。

授業外学習

林：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。
高橋：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経済学をつかむ 第3版（テキストブックス [つかむ]）	栗山浩一、馬奈木俊介	有斐閣	978-4641177246
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境財政						担当教員	村上 一真
講義コード	1200582	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211FFM205, 212ETC311, 313ARC306, 214BRM293							

授業概要

環境問題の多様化・複雑化による環境保全経費増加に対する負担構造のあり方や実際についての理解を目指す。講義では、環境政策を担う組織や制度、権限や予算等の移譲と役割・機能分担、政策立案や予算編成、行政評価、財政のしくみや現状とともに、費用負担（汚染者負担、受益者負担、共同負担）と受益の関係の違いなどにより設計された、国際レベル・国レベル・地方レベルの様々な環境政策手段の理論と実際について学ぶ。

到達目標

(1)国・地方自治体の役割・機能に基づく行政・公共政策のしくみと現状、(2)国・地方自治体の政策実施等の原資となる財政のしくみと現状、(3)国・地方自治体の環境政策の手段や組み合わせのしくみと現状、(4)エネルギー・地球温暖化、森林政策の経済的手法のしくみと現状を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

毎回の授業中にレポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	水と森の財政学	諸富徹・沼尾波子	日本経済評論社	
2	環境政策のポリシーミックス	諸富徹	ミネルヴァ書房	
3				

適宜、資料を配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境シミュレーション						担当教員	井手 慎司
講義コード	1200620	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312ETR306,314BRM395							

授業概要

環境の諸現象を再現、分析、予測するための数学モデリングおよびコンピュータ・シミュレーション技法の基礎を学ぶ。授業ではモデリングの基本的な考え方（物質収支・反応速度論）、モデルの構築手順、コンピュータ・シミュレーションとのための数値解析（プログラミング）、シミュレーション結果のグラフィカル・プレゼンテーションなどについて解説する。

到達目標

- (1) モデルが表している現象を説明できる。
- (2) 物質収支を計算することができる。
- (3) 簡単な数値計算ができる。
- (4) VBAを用いてプログラムを作成できる。
- (5) Excelの表計算機能やVBAを用いて、シミュレーションプログラムを作成できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)については定期試験（10%）、(2)(3)については定期試験（10%：(2)5%、(3)5%）、(4)(5)については定期試験（30%：(4)15%、(5)15%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)については課題（10%）、(2)(3)については課題（10%：(2)5%、(3)5%）、(4)(5)については課題（30%：(4)15%、(5)15%）で評価する。

課題を5回出す。

授業外学習

課題にまじめに取り組み、ExcelやVBAによるシミュレーションプログラムの作成に習熟すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新 Excel コンピュータシミュレーション	三井 和男	森北出版	978-4-627-84871-9
2				
3				

講義レジュメを配付

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ワープロと表計算ソフトの基礎知識をもつこと。

履修資格

講義名	環境社会学						担当教員	平岡 俊一
講義コード	1200630	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112ETC203							

授業概要

環境社会学は、環境問題の発生・被害構造や環境保全の方策などについて社会（人間・集団・組織）との関係性に注目しながら分析・考察を行う研究分野である。本講義では、私たちの社会が環境問題をどのように引き起こし、一方でいかなる被害を受けているのか、そして環境を保全するために誰がどのような取り組みができるのか、といったことについて、環境社会学の概念や理論を用いながら分析・考察する能力を獲得することを目指す。

講義においては、各回のテーマに関連して、その問題構造や解決法について考えるグループワークや小レポートの執筆などを積極的に実施する。

到達目標

- (1) 環境社会学の基本的な概念、理論について理解する
- (2) 環境問題と人間社会の関係性について理解する
- (3) 環境問題の発生・拡大の要因、被害の構造について社会学的な視点から分析する能力を獲得する
- (4) 環境保全に関する担い手・体制や活動・政策について社会学的な視点から分析する能力を獲得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	期末レポートを課す。上記目標に関する到達度、課題設定の明確さ、考察内容の独自性などから評価する
上記以外	50	グループワークへの参加姿勢、講義での発言内容、小レポート・小テストの内容などから評価する

授業外学習

講義期間中に数回の小レポート、小テストを課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『よくわかる環境社会学』	鳥越皓之・帯谷博明編	ミネルヴァ書房	ISBN-10: 4623079341
2	『環境社会学』	舩橋晴俊	弘文堂	ISBN-10: 4335551436
3	『環境社会学—生活者の立場から考える』	鳥越皓之	東京大学出版会	ISBN-10: 4130520229

前提学力等

履修資格

講義名	環境情報						担当教員	白木 裕斗
講義コード	1200645	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212ETR302							

授業概要

環境・社会問題に関わる情報を取り扱う際の基礎を学ぶ。情報の収集・整理・保存・検索、また取得した情報の要約・分析・統合のための包括的な方法論を身につける。また、収集した情報を元にしたデータベースの構築方法を学ぶ。この授業では、単に環境分野を対象とするだけでなく、関連する社会経済分野も対象としてとらえる。

キーワード：統計データ、グラフ、データベース、環境、社会経済

到達目標

- (1) 社会経済と環境に関するデータを収集し、それらを適切に説明・グラフ化できるようになる。
- (2) データベースの基礎知識を習得する。
- (3) 収集したデータを用いて、簡単なデータベースを構築できるようになる。
- (4) 構築したデータベースの分析・説明ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	最終レポートにより到達目標(3) (10%) と(4) (20%) を、それぞれ評価する。
上記以外	70%	各回の課題により到達目標(1) (15%) と(2) (15%) を評価する。演習発表により到達目標(3) (30%) と(4) (10%) を評価する。

授業外学習

Web上の動画を用いて予習することが望ましい。
最終課題の提出に向けて授業外での作業が必要となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

2014年度以前入学生で、「環境情報演習」を履修済みの学生は履修不可。

履修資格

講義名	環境心理学						担当教員	佐々木 和之
講義コード	1200661	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212ETC302-C							

授業概要

本講義では、環境心理学を二つの側面から扱う。
 一つめの側面は、物理的な空間と人間の行動との関係性を解明し、実際の建築・建設等のデザインへの寄与を目指す、空間的課題への取り組みである。
 二つめの側面は、環境問題における人々の意志決定の要因を解明し、環境問題の解消に繋がる行動促進等を目指す、社会的課題への取り組みである。
 以上二つの側面を踏まえつつ、人々がどのように行動しているかを解き明かす方法として、環境心理調査手法を本講義では学ぶ。

到達目標

- (1)環境心理学の基礎が理解できている。
 (2)社会的課題、空間的課題について、環境心理調査手法を用いることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)環境心理学の基礎が理解できているについては、講義計画 印時のミニレポート(4%×9回)、 (2)社会的課題、空間的課題について、環境心理調査手法を用いることができるについては講義計画 印の講義時間中に作成するレポート(32%)、講義計画 印の講義時間中に作成するレポート(32%)で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

履修資格

講義名	環境水文学						担当教員	大久保 卓也
講義コード	1200665	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211FFM210, 212PEL306, 214BRM232							

授業概要

森林、河川等の環境における水の動きとそれを支配するメカニズムについて解説する。また、その水の動きと連動する栄養塩、土砂等の物質の動き、および、それらの動きと生物との関わりについて解説する。日本および滋賀県における水利用の歴史、水害の歴史についても解説する。

到達目標

- (1) 水の動きの基礎的知識と理論を習得する
- (2) 水利用の歴史、水害対策の歴史から先人たちの創意工夫を学ぶ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	水文学に関する用語、理論、現象の理解度、計算方法の理解度を40問程度の問題で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	毎回の小テスト

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎回、講義の終わり（または、はじめ）に10分間程度の小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特定の教科書は使用しないが、下記の参考書を主に引用しながら説明する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エース水文学	池淵周一ほか	朝倉書店	4-254-26478-X
2	例題で学ぶ水文学	椎葉充晴ほか	森北出版	978-4-627-49631-6
3	地域環境水文学	丸山利輔ほか	朝倉書店	978-4-254-44022-5

前提学力等

履修資格

講義名	環境政策学						担当教員	上河原 献二 / 和田 有朗
講義コード	1200700	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211FFM206, 212BTR202, 213ARC205, 214BRM295							

授業概要

環境政策が成立する背景、環境政策に関わる組織と制度、環境政策の目標と手段など、環境政策の体系に関する理解を目指す。環境政策は、環境問題を解決するために実践された様々な試みが成立の根拠となっている。現在では、汚染管理、自然環境保全、地球環境保全、さらには放射性汚染対策まで拡大している。ここでは主要な政策の形成過程にとどまらず、その実施過程と成果を概観して、当該政策の意義と問題点を説明する。さらに、政策の実効性を高めるためには、政府だけではなく多面的な主体が関与する必要があるため、環境ガバナンスを巡る課題について解説する。

到達目標

- (1) 環境問題と環境政策の関連について説明できる
- (2) 環境政策の性格と機能を理解できる
- (3) 環境政策の目標と手段を説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	到達目標(2)について10% 到達目標(3)について10%
レポート課題	50	各授業中に作成するレポート 到達目標(1)について10% 到達目標(2)について10%
上記以外	30	中間試験 到達目標(2)について10% 到達目標(3)について10%

講義10回以上の出席が単位取得要件となる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境社会検定試験ECO検定公式テキスト	東京商工会議所編	日本能率協会マネジメントセンター	ISBN978-4-8207-4924-0
2	よい環境規制は企業を強くする	三橋規宏監修	海象社	978-4-907717-96-4
3	新版原子力の社会史	吉岡斉	朝日新聞出版	978-4-02-259983-4

前提学力等

環境政策は、環境問題に対応して発達する。従って、環境問題についての一般常識を身に付けていることが望ましい。そのため日頃から印刷された新聞に目を通し、環境問題に関するニュース

履修資格

講義名	環境生物学							担当教員	浦部 美佐子
講義コード	1200770	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	111DFM108, 112PEL204, 114BRM120								

授業概要

環境と生物のかかわりを理解するために必須である生物学の基礎事項、すなわち生物の体を形作る基本となつて細胞の構造と働き、有機高分子（タンパク質、脂質、炭水化物、核酸）の構造とそれらの主な働き、エネルギー交代・物質交代のしくみ、遺伝と進化のしくみについて説明する。

到達目標

- (1)生物体の構造と機能について基礎的な用語と概念を理解すること。
- (2)生体内で起こっている現象について、論理的に推論できること。
- (3)講義で学んだ知識を用いて、一般社会および自己の生活の中でみられる生物学的事象を科学的に理解できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	小テストの得点と合計して60点以上を可、70点以上を良、80点以上を優、90点以上を秀とする。
レポート課題		
上記以外	40	小テストの評価とする。

5回以上無断欠席した者は原則として定期試験の受験を認めない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学生生物学の教科書 第1巻「細胞生物学」		講談社ブルーバックス	
2	大学生生物学の教科書 第2巻「分子遺伝学」		講談社ブルーバックス	
3				

期末試験において「章末問題」から一部出題をする。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	細胞の分子生物学 第5版	Albertほか	ニュートンプレス	
2	進化—分子・個体・生態系	パートンほか	メディカルサイエンスインターナショナル	
3	進化の教科書	ジンマー/エムレン	講談社ブルーバックス	

前提学力等

高校で化学あるいは生物を履修していること

履修資格

講義名	環境地球科学						担当教員	堂満 華子
講義コード	1200890	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211DFM205, 212PEL303, 214BRM123							

授業概要

地球は46億年前に誕生してからさまざまな変遷を経て今日に至っている。本講義ではおもに、動く大地についての考え方や地球の環境がどのようにしてつくられてきたのかについて解説する。これをもとに、現在の地球環境の成立について学ぶ。

到達目標

地球とその歴史に関する基礎知識を修得し、現在の地球環境の成り立ちを理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業計画と成績評価方法は多少なりとも変更があり得ます。たとえば、なんらかの理由で休講になる場合、レポートを課すことがあるかもしれません。受講生の理解度を確認しながら進むため、授業計画を見直すかもしれません。したがって、シラバス上の授業計画と成績評価方法はめやすと受け取ってください。ただし、授業計画と成績評価方法を変更する際は授業中に説明します。

授業外学習

教科書や課題を用いた予習を前提とした授業の進め方をします。
復習のための課題も課します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図解・プレートテクトニクス入門（ブルーバックス）	木村 学・大木勇人	講談社	4062578344
2	地学のツボ―地球と宇宙の不思議をさぐる（ちくまプリマー新書）	鎌田浩毅	筑摩書房	4480688048
3				

毎回授業に持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地震・プレート・陸と海―地学入門（岩波ジュニア新書92）	深尾良夫	岩波書店	4005000924
2	ニューステージ新地学図表		浜島書店	4834340120
3				

参考書を適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワーク							担当教員	学部教員
講義コード	1200960	単位数	3	開講期	前期	授業種別	実習		
ナンバリング番号	111FFM102-C, 112BTC101-C, 113ARC101-C, 114BRM100-C								

授業概要

実際の地域環境問題が生起するフィールドに足を運び、自分自身の五感を通して環境問題に触れ、それを図、文字、数値データに記録する方法を学ぶ。また、自分自身で記述した記録から、地域環境問題がどのような問題構造をもったものであるか、グループ討議を通して組み立てる演習をおこなう。実際には4つのテーマで授業を行う。1テーマあたり3～4週を1クールとし、各クールで別テーマの授業を受ける。

4つのグループに分かれて、3～4週（1週は3、4、5時限の合計3時限）でひとつのテーマ、合計4つのテーマについてフィールド実習・演習をおこなう。

テーマは「大キャンパスの魅力を探せ」、「愛知川周辺の農村地域の自然・社会環境」、「エコキャンパス・バイコロジー」、「流域環境の構造と機能」である。各グループ実習・演習の中で1週は学外に出かけ、フィールド観察・施設・機関の見学などをおこなう。また、4回のグループ実習・演習ごとにその観察結果をまとめ、グループでプレゼンテーションを行うとともに、各個人がレポートを提出する。

各テーマでの授業計画については、各テーマ開始時に示される。

到達目標

- (1) フィールドワークに必要な基本的スキルを身につける。
- (2) 指定された項目について、文章で表現できる。
- (3) 調査結果を考察し、その内容を他者に説明できる基礎力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークの基本スキルの修得: 40% (項目2) 指定された項目に対する文章表現: 30% (項目3) 調査結果を考察し、それを他者に説明する能力: 30%

各項目についての成績評価方法は各テーマで異なるので、各テーマの授業開始時に説明をうけること。

授業外学習

各テーマの実習・演習終了時あるいは実施中にレポート等が課されることが原則である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フィールドワーク心得帖 新版	滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会	サンライズ出版	978-4883255627
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワーク						担当教員	学部教員
講義コード	1200970	単位数	3	開講期	前期	授業種別	実習	
ナンバリング番号	211FFM202-C, 212BTC201-C, 213ARC201-C, 214BRM200-C							

授業概要

地域環境にかかわる情報は多分野にまたがり、性質も多様である。これらの環境情報を収集し解析するために、対象地域あるいは問題対象を特定し、フィールドワークを通じて、自然調査や社会調査の基本的な手法を学んでいく。ねらいは、フィールドワークの手法を地域の環境問題の解析に適用することにより、現場に即した調査態度と解析手法、レポートに作成、発表の方法を学ぶことである。実際には9つのテーマに分かれ、その1つのテーマについて15週の授業を受ける。

学生はAからIまでの9グループに分かれる。グループ編成は学生の希望にもとづき、教員側で決定する。前期を通じて同じグループで授業を受ける。授業の成果を報告集として作成することを目標とする。各テーマでの授業計画については、授業開始時に示される。

到達目標

- (1) なんらかの課題に対し、教員の指導の下でフィールドデータを取ることができる。
- (2) 取得したデータに対し、基礎的な分析を行うことができる。
- (3) データの分析結果に基づき、論理的に議論できる。
- (4) データの分析結果を適切な文章で表現できる。
- (5) 初歩的な報告書を書くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークのパフォーマンス: 60% (項目2) データ分析のパフォーマンス: 10% (項目3) プレゼンテーションのパフォーマンス: 10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワーク						担当教員	学部教員
講義コード	1200980	単位数	3	開講期	通年集中	授業種別	実習	
ナンバリング番号	311FFM302-C, 312PEL301-C, 313ARC301-C, 314BRM310-C							

授業概要

各教員が提示するテーマごとのグループに分かれ、その教員の指導のもとで15週45講分の時間を用い、フィールドワークを主体とした調査を行ない、調査報告書を作成する。

授業計画は、各教員によって異なる。
4月に環境フィールドワーク委員会から配布される「各グループのテーマおよび内容」を参照のこと。そのうえで、環境フィールドワーク委員会の指示にしたがい、どのテーマのグループに所属したいかを記した希望票を提出すること。

到達目標

- (1) 特定の課題に対し、教員の指導を受けつつ自発的にフィールドデータを取ることができる。
- (2) 取得したデータに対し、専門的知見を交えた分析を行うことができる。
- (3) データの考察を行い、その結果を適切な文章で表現できる。
- (4) 考察を交えた報告書を書くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークのパフォーマンス: 60% (項目2) データ分析のパフォーマンス: 20% (項目3、4) 報告書作成のパフォーマンスおよび文章の質: 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境物理学						担当教員	小泉 尚嗣
講義コード	1200990	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	111DFM110, 112PEL203, 114BRM122							

授業概要

この講義では、物理学の基本である力学を扱う。大学レベルの物理学の基本を扱うので、微分・積分・ベクトル代数を使用する。特に、微分・積分については前期に開講している「基礎数学I」程度の内容は理解していることを前提とする。ただし、必要な数学的知識について最小限の復習を行う。また新たな数学的手続きを使用する場合、丁寧な解説を行う。この講義では、力学の基本的現象を理解したうえで、それを数式化して解析することを学ぶ。物理学を「道具」として使えるように、物理法則適用の前提を明らかにした上で、基本的な演習問題を解くと共に、身近な現象に物理学がどのように適用できるかも考える。

到達目標

- (1) 基礎的な力学を理解する。
- (2) 微分積分およびベクトルの基礎を用いて、力学の基礎的問題を解けるようになる。
- (3) 基本的な物理現象について、力学の用語を用いて説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	
レポート課題		
上記以外	60	演習問題(宿題)

授業外学習

15回の授業期間中に、12回程度の演習問題を課す。授業内にできなかったものが宿題となる。演習問題(宿題)は毎回添削のうえ返却する。宿題は1週間以内に提出を原則とする。出席状況も加味した毎回の演習問題(宿題)の点数が成績評価の6割をしめる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	工科系のための基礎力学	井上光・鈴木貴・他	東京数学社	
2	理工系の基礎物理 力学	原 康夫	学術図書出版社	
3				

授業中にプリントを配布する。微積分について苦手意識のない人は参考書を買う必要はない。迷う場合は、授業が始まってから判断しても大丈夫で

前提学力等

高校程度の微分積分およびベクトルを理解していること。微分積分の知識が不足している場合は、前期の「基礎数学」を履修していること。

履修資格

講義名	環境法						担当教員	上河原 献二 / 小松 直樹
講義コード	1201039	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	311FFM211, 312ETC306, 314BRM297							

授業概要

1970年代に整備された環境法は、公害・自然破壊から環境保全へ、更に地球環境問題と対象とする問題が変化するにつれて対応する法体系も大きく変容してきている。この講義では、法と社会という広い観点に立って、国の法律、地方自治体の条例、地球環境条約など環境を守るルールについて、その基本的な考え方と論点について学ぶ。講師は、それぞれ環境省と滋賀県琵琶湖環境部で長年環境行政に携わった経験を有するので、生きた環境法を学ぶことができる。

到達目標

(1) 環境法全体の歴史、性格、行政主体の役割の基本的事項を理解するとともに説明できる。(2) 個別分野の環境問題に関する法律の対象問題、基本的構造及び課題について理解するとともに、説明できる。(3) 環境法に関する横断的事項・手法を理解するとともに、それらを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	授業中レポート 到達目標(1)について10% 到達目標(2)について10%
上記以外		

以下を単位取得要件とする。
10回以上の出席、宿題レポート2回以上の提出、期末レポートの提出

授業外学習

事前に講義に関する教科書該当箇所を読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	考えながら学ぶ環境法	畠山武道	三省堂	9784385322451
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

環境法は、環境問題を改善するためにできている。従って、環境法を理解するためには、環境問題を知っていることが前提になる。そのため、常に新聞に目を通して、環境問題に関する記事を読んでおくこと。

履修資格

講義名	環境法						担当教員	上河原 献二 / 小松 直樹
講義コード	1201039	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	311FFM211, 312ETC306, 314BRM297							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	環境問題と環境法の歴史	環境問題とは何か？ 環境問題の歴史、 環境政策の基本的な考え方、 環境法の歴史、 環境法の特徴
第2回	規制的手法	環境汚染対策の手法、 規制的手法の原則と仕組み、 規制的手法の意義と限界、 現在の課題
第3回	化学物質対策に係る法制度	化学物質問題とは、 農薬取締法、 化学物質審査規制法、 化学物質把握管理促進法
第4回	環境行政における国と地方自治体の役割	環境基本法と環境基本計画、 環境基準と規制基準、 国、都道府県、市町村の役割、 上乗せ規制と横出し規制、 公害防止計画、 公害防止協定、 環境基本条例
第5回	環境影響評価の考え方とその法制度	目的、 経緯、 仕組み、 地方自治体における制度、 実績・事例
第6回	大気汚染、悪臭、騒音・振動に係る法制度	大気汚染の歴史と大気汚染防止法、 悪臭防止法、 騒音防止法、 振動防止法
第7回	水質汚濁・土壌汚染に係る法制度	水質汚濁の歴史と水質汚濁防止法、 地下水汚染対策、 農用地土壌汚染対策、 市街地土壌汚染対策
第8回	廃棄物の処理・リサイクルに係る法制度	歴史、 循環型社会形成推進のための法体系、 廃棄物処理法による適正処理、 廃棄物処理の課題、「３Ｒの推進」に向けた法体系整備、 個別物品の特性に応じたりサイクル、 国際的取決
第9回	自然公園制度	自然公園制度の歴史、 営造物公園と地域制公園、 自然公園制度の目的、 管理制度、 課題
第10回	生物多様性保全制度	生物多様性条約、 生物多様性基本法、 鳥獣保護法、 種の保存法、 外来生物法
第11回	原子力汚染対策法	原子力基本法、 原子炉等規制法、 特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律、 原子力災害特別措置法、 放射性汚染対処特別措置法、 原子力規制委員会設置法
第12回	環境法の国際的形成と気候変動条約	行政分野の国際協力制度、 国際的環境保全制度の発展、 地球環境条約制度の仕組み、 気候変動条約制度
第13回	地球温暖化対策に関する法制度	地球温暖化対策推進法、 温暖化対策税、 再生可能エネルギー導入対策、 省エネ法
第14回	環境保全に関する費用負担	誰が負担してきたか、 汚染者負担原則、 拡大生産者責任、 受益者負担原則
第15回	被害救済制度	損害賠償制度（民法、国家賠償請求法、原子力損害賠償法）、 取消請求制度（行政事件訴訟法）、 公害紛争調停制度

講義名	環境マネジメント演習						担当教員	高橋 卓也
講義コード	1201060	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	312ETR304							

授業概要

企業等の組織の環境経営に例をとった演習課題に取り組むことによって、環境経営、さらには卒業研究に有益なスキルを身に付ける。その過程で、組織の多面性・複雑性、組織を取り囲む環境、財務管理、組織外部とコミュニケーションの取り方、ステークホルダーとの関係マネジメントなどの概念および実際について学ぶ。

到達目標

(1)環境経営について体系的に分析し、問題解決方法を提案できるようになる。(2)環境経営における課題の解決方法を、説得力をもって説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)環境経営について体系的に分析し、問題解決方法を提案できるようになる、および(2)環境経営における課題の解決方法を、説得力をもって説明できるようになる、について、演習作業状況(20%:(1)10%、(2)10%)、成果報告(80%:(1)40%、(2)40%)で評価する。

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

講義の復習及び報告のための準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	自然資本の経済―「成長の限界」を突破する新産業革命	ポール・ホーケン、L. ハンター・ロビンス、エイモリー・B. ロ	日本経済新聞社	978-4532148713
2	ディーブエコノミー 生命を育む経済へ	ビル・マッキベン	英治出版	978-4862760296
3	グリーン・トゥ・ゴールドー企業に高収益をもたらす「環境マネジメント」戦略	ダニエル・C. エスティ	アспект	978-4757214927

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境公正論						担当教員	土屋 正春
講義コード	1201085	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312ETC304, 313ARC207							

授業概要

今や小学生でさえ「地球環境問題」という言葉を知っています。この時代に生きる私たちには歴史的にも前例のない努力と配慮を求められていますが、その内実は極めて複雑な状況にあります。

一例を挙げると、2010年に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）ではこれまでにない資源提供国と利用国との激しい対立が展開されたことは知られている通りです。それでも2015年12月にパリ協定として全ての国が協調して温暖化問題に取り組む枠組みが採択されたのは、問題の深刻さが広く国際社会で広く共有されたためだと言えるでしょう。

ところがアメリカのトランプ大統領はアメリカの国益に沿わないという立場からパリ協定からの脱退を宣言したことから、アメリカ国内でも国際社会でも状況は混乱しています。

これら一連の出来事は、「権利」と「義務」とで成り立つ「制度」には、避けることができない「仕組み」としての限界が潜んでいることを示しています。このため、今や地球規模にまで拡大した環境問題を考えるためには、これとは別のチャネルの共有が強く求められるようになりました。人間の行動をより広い正義や公正の観点から見直そうとする動きがそれであり、すでに40年ほど前から研究成果の蓄積を得てきています。

到達目標

- ・これまでの環境思想の流れの理解を通じて時代認識を得ること。
- また、生命についての考え方との関係を理解できること。
- そして、一番大切なことですが、自分の考えを持てるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	・到達目標について記述式試験、および穴埋め問題などによる試験を行います。(70%)
レポート課題		
上記以外	30	・講義の進度に応じて記述式小テストを行います。(30%)

- ・3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

- ・今後の予習課題掲載ページに注意願います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

- ・教科書は使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

- ・今後の予習課題掲載ページに注意願います。

前提学力等

- ・前提とする学力内容が多岐にわたるので3年次以上の履修としています。

履修資格

--

講義名	基礎数学						担当教員	山崎 惣治郎
講義コード	1201110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	111FFM105, 112PEL101, 113ARC104, 114BRM190							

授業概要

自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、数学的な見方・考え方の力を身につけ、様々な分野で数学が利用されていることを学習する。

授業概要（要約版：印刷用） 自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、数学的な見方・考え方の力を身につけ、様々な分野で数学が利用されていることを学習する。

到達目標

(1)漸化式が解けること。(2)数列の極限が求められること。(3)ベクトル・行列の扱いに慣れること。(4)いろいろな曲線の表し方を理解すること。(5)確率の計算・確率分布・平均・分散が求められること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末考査
レポート課題	30	出席を含む
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎数学						担当教員	山崎 惣治郎
講義コード	1201120	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	111FFM106, 112PEL102, 113ARC105, 114BRM191							

授業概要

自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、直感を重視しながら数学的な見方・考え方の力を身につけ、また環境問題を扱う上でしばしば見受けられる三角関数・指数関数・対数関数を軸として、関数の微少な変化を調べてその結果を知るための微分・積分の基礎的概念を学習する。

到達目標

- (1) 三角・指数・対数関数の計算ができること。
- (2) 平均変化率・導関数の計算ができること。
- (3) 置換積分・部分積分の計算ができること。
- (4) 簡単な微分方程式が解けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末考査
レポート課題	30	出席等
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎統計						担当教員	金谷 健
講義コード	1201130	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112BTR201							

授業概要

統計資料の分析を進めていくため、統計学の基礎知識を学ぶ。各種の統計データの読み方やそこから作られる図表の読み方を習得し、基本的な計算やグラフの作成ができるようにする。具体的には官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワークによる論文が読め、単純集計・度数分布・代表値・クロス集計などのデータを読めるようにする。また統計をどうして学ばなければならないか、統計が社会でどのように役立つかについても、理解していく。

到達目標

- (1) 統計学における基礎的な統計概念について、説明できること。
- (2) 記述統計学における基礎的な統計量について、手計算で計算できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	定期試験の結果で評価。 到達目標(1)について、20%。 到達目標(2)について、20%。
レポート課題	20	2回の宿題の結果で評価。 到達目標(1)について、10%。 到達目標(2)について、10%。
上記以外	40	中間ふりかえりの結果で評価。 到達目標(1)について、18%。 到達目標(2)について、22%。

特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した場合は、成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	数学嫌いのための社会統計学〔第2版〕	津島昌寛・山口洋・田邊浩編	法律文化社	4589036193
2				
3				

教科書は、初回授業から持参すること。持参を前提に、授業を実施する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	景観計画						担当教員	村上 修一
講義コード	1201160	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212PEL307, 213ARC302, 214BRM287							

授業概要

ランドスケープは、自然と人為の関わり合いをとおして形成される場の様相である。本科目では、ランドスケープの特徴や仕組みを分析して課題を抽出し、課題の解法を創造するための計画手法を学ぶ。受講生は単に知識を得るだけでなく、未来社会にふさわしい新たなランドスケープ形成手法を習得する。

- 各回の授業は以下のように実践形式である。
- (1) 目標とワークシート課題の提示
 - (2) 課題を解くために必要な手法の講述
 - (3) ワークシートの作成と採点

到達目標

講述する手法を用いたランドスケーププランニングができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標について授業時間内に実施する13回分のワークシート課題の点数を合計し(100点/回, 1300点満点), 100点満点に換算して評点とする(100%)。ワークシートは授業時間中に座席間を移動する教員によって採点される。

授業に出席しても、居眠り等によりワークシート課題を行っていない場合は、その回の点数は0点となる。

ワークシートは、講義の内容によって、トレーシングペーパー上で地図を作成する形式や、小クイズ形式の場合などがある。

授業外学習

本科目で習得した手法を、設計演習や卒業設計における課題制作に際して、積極的に活用し、その手法を確実に身につけてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ランドスケープデザイン	佐々木葉二, 曽和治好, 村上修一, 久保田正一	昭和堂	
2	環境デザイン学 - ランドスケープの保全と創造	森本幸裕, 白幡洋三郎編	朝倉書店	
3	テキスト ランドスケープデザインの歴史	武田史朗, 山崎亮, 長濱伸貴編	学芸出版社	

追加の参考書

前提学力等

- (1) 川の課題に取り組む回があるので、人間学「川の未来学」を履修し河川計画の基本を知っておくことが望ましい。
- (2) 等高線を描く回があるので、「ランドスケープデザイン」を履修し等高線の作図法を習得しておくことが望ましい。

履修資格

講義名	経済学						担当教員	林 宰司
講義コード	1201170	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112ETC204, 114BRM195							

授業概要

現代経済学は、個別の経済活動を集計した一国経済全体を扱うマクロ経済学と、経済主体の最小単位である消費者、企業が活動を行う市場の分析を対象とするミクロ経済学に大きく分けられる。本講義では、主に後者のミクロ経済学の基礎理論を理解することを目的とする。

到達目標

- (1)消費者・生産者の経済行動の簡単な事例について、説明できるようになること。
(2)ミクロ経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、市場経済のしくみについて定性的・定量的な分析価ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)20%, (2)20%
レポート課題	30%	到達目標(1)15%, (2)15%
上記以外	30%	中間まとめ 到達目標(1)15%, (2)15%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公務員試験 テキスト ゼロからはじめる！クイックマスター ミクロ経済学	東京リーガルマインド	東京リーガルマインド	978-4-8449-0483-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

グラフ、一次方程式、確率計算、微分計算などの初歩的な数学の知識を前提とする。

履修資格

講義名	経済学（国際経済を含む）						担当教員	村上 一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	3371LA30							

授業概要

現実のデータや実際の事象に着目し、日本や関西が抱える経済問題を、マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す。講義では、マクロ経済学の標準的な理論にとどまらず、企業の生産水準や雇用状況などの様々な経済指標の読み方、日本経済や関西経済の動向・見通しなどについて、理論と実際を結びつけながら解説し、理論、経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ。

到達目標

(1)マクロ経済学の基礎概念、(2)家計、企業、政府の行動理論と現状、(3)マクロ政策の理論と現状を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

適宜、小テスト・レポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にレジメ配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学・入門(第5版)	福田慎一・照山博司	有斐閣	
2	マクロ経済学(第2版)	伊藤元重	日本評論社	
3				

授業中にレジメ配布

前提学力等

履修資格

講義名	合意形成支援技法・演習						担当教員	金谷 健
講義コード	1201331	単位数	3	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212ETR304							

授業概要

廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（ブレ-ンスト-ミング法、ブレ-ンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。

到達目標

- (1) 要素抽出技法（技法なし、ブレ-ンスト-ミング法、ブレ-ンライティング法）について、比較結果を論理的に説明できること。
- (2) 代替案評価技法（衆目評価法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
- (3) 代替案評価技法（AHP法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
- (4) 問題構造化技法（ISM法）について、問題構造化グラフを論理的に導けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	91	提出レポートで評価する。 到達目標(1)について15% 到達目標(2)について15%
上記以外	9	3回の発表の際に、受講者は、他グループ発表の評価を、評価シートに記載する。その記載内容で、評価する。 到達目標(3)について6% 到達目標(4)について3%

特段の事情（病気等；病院領収書等の提示が必要）がない限り、5回以上欠席した者は、成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は、特になし（資料配付）。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

行列、表計算の基礎知識を有すること。

履修資格

講義名	国際環境資源論						担当教員	高橋 卓也 / 林 宰司
講義コード	1201380	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312ETC305,314BRM393							

授業概要

グローバル経済のなか、日本国内の環境政策は国際的な状況を考慮に入れなくては、有効な政策を構想できない。また、新たな政策を打ち出すにあたっては、海外の政策が参考にされることが多くある。この講義では、森林環境政策（第1回～第8回。高橋担当）および地球温暖化防止政策（第9回～第15回。林担当）の国際的な展開過程を跡づけるとともに、農林環境政策および地球温暖化防止政策に伴う理論的・実際の諸問題を考える。

到達目標

- （１）国際的な視野のもとで、環境・資源問題に応用される経済的政策手法の事例について説明できるようになる。
（２）経済学の理論を使って、国際的な環境・資源問題について、その原因及び解決策について数式および図解により分析・説明ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標（１）について、授業内容に関するプレゼンテーション・レスポンスペーパーを課す。（50%） 到達目標（２）について、自らの考えを問うためのレポートを課す。（50%）
上記以外		

授業外学習

森林環境政策及びその関連分野についてレポートをとりまとめる（高橋担当分）。
地球温暖化防止政策及びその関連分野についてレポートをとりまとめる（林担当分）。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	サステナブルデザイン論						担当教員	芦澤 竜一
講義コード	1201465	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312PEL303, 313ARC303							

授業概要

現代における地球環境を考慮した持続可能な社会を構築するための建築デザインについて論じる。環境、社会と建築との関りに注目して、事例を分析し、地域特性、素材、環境制御技術と連動したデザインを考察する。日本建築から現代建築まで具体的な事例を取り上げ、建築におけるサステナブルデザインの可能性を検証する。

到達目標

- (1) 現代の環境や社会を考慮した建築のサステナブルデザインに関わる知識を身につける。
- (2) 現代の社会や環境に対して、サステナブルデザインを提案する能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	授業内容を理解し、自身の論を立てられていることを評価する。
上記以外	30	毎回の出席点

1/3以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業内容をきちんと復習し、自身で調査・考察すること。定期的に出題するレポートに意見を論述する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	住まいがたえる世界のくらし	藤木庸介編	世界思想社	978-4-7907-1689-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

前提学力等

履修資格

講義名	資源経済学						担当教員	高橋 卓也
講義コード	1201470	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212ETC309,314BRM390							

授業概要

資源経済学の対象は、自然界から採取し、経済過程や人びとの生活に投入される物質・エネルギー・情報である。効率的で、公正で、持続可能な自然資源利用を実現する基礎となるのが資源経済学に与えられた課題である。この授業では、所有権と資源管理の関係、費用便益分析等による事業の効率性の評価、非市場価値の評価方法、非更新性資源の異時点間配分に関するホテリングの原則、開放漁場における地代消滅に関するゴードンの定理、森林の最適伐期に関するファウストマン・ルールをはじめとする資源経済学の標準理論を学び、それらを参考に、持続可能な社会における自然資源利用のあり方を考える。

到達目標

- (1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる。
(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標で示す(1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる、および(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる、について期末筆記試験(60%:(1)40%、(2)20%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標で示す(1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる、および(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる、について毎回課する作業課題(40%:(1)20%、(2)20%)で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	入門 自然資源経済学	バリー・C・フィールド	日本評論社	978-4-535-55798-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめての環境経済学	ジェフリー・ヒール	東洋経済新報社	978-4492313473
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

環境経済学入門・経済学 を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	市民参加論						担当教員	平岡 俊一
講義コード	1201550	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112ETC202-C							

授業概要

今日多様化する公共的課題を解決していく上では、私たち一人一人が「市民」として各種の社会活動や公共政策に積極的に参加していく、「市民参加」の推進が非常に重要になる。本講義では、「広義の市民参加」=社会（市民）活動への参加、「狭義の市民参加」=自治体等の政策過程への参加の2分野に分けて、それぞれの事例、推進手法、体制などについて学び、理解を深めていく。また、市民参加に関連する概念である、「協働（パートナーシップ）」についてもあわせて取り上げていく。

市民参加・協働に関する知識を獲得すると同時に、現代社会において公共的課題に対して当事者意識をもち積極的に関わる市民をいかに増やしていくことができるか、その方策を明らかにしていくことを目指す。

到達目標

- (1) 市民参加・協働の基本的な概念、意義について理解する
- (2) 市民参加・協働に関する事例、推進手法、体制などについての知識を獲得する
- (3) 市民参加型政策・活動を企画（デザイン）するノウハウを獲得する
- (4) 市民意識の醸成に関心をもち、何かしらの取り組みを実践する姿勢を身に付ける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	期末レポートを課す。上記目標に関する到達度、課題設定の明確さ、考察内容の独自性などから評価する
上記以外	50	講義ならびにグループワーク等への参加姿勢、小レポート・小テストの内容などから評価する

授業外学習

講義期間中に数回の小レポート、小テストを課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『市民の政治学』	篠原一	岩波書店	ISBN-10: 4004308720
2	『まちづくりの実践』	田村明	岩波書店	ISBN-10: 4004306159
3				

前提学力等

履修資格

講義名	社会学						担当教員	平岡 俊一
講義コード	1201560	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212ETC306, 214BRM298							

授業概要

本講義では、社会学の概念や視点について領域を跨いで幅広く学んでいく。まず、社会学の基本的概念や主要理論などについて学んだ上で、現代社会の諸領域に存在する問題・課題について社会的な視点から考えていく。講義を通じて、「社会的想像力」を身に付けるとともに、現代社会の諸問題を社会的に分析・考察していくための考え方や手法を獲得することを目指す。

定期的に講義で取り上げた内容に関して、その問題構造や解決法などをテーマにしたグループワーク、小レポートの執筆などを行う。

到達目標

- (1) 社会学の基本的な概念や主要理論について理解する
- (2) 「社会的想像力」を身に付ける
- (3) 現代社会の諸領域における問題・課題について、社会的な視点から分析・考察する能力を獲得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	講義内容の理解度、上記目標の到達度などから評価する
上記以外	50	講義・グループワークへの参加姿勢、発言内容、小レポート・小テストの内容などから評価する

授業外学習

講義期間中に数回の小レポート・小テストを課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『テキスト現代社会学[第3版]』	松田健	ミネルヴァ書房	ISBN-10: 4623075583
2	『社会学がわかる事典』	森下伸也	日本実業出版社	ISBN-10: 4534031734
3	『社会学〔第5版〕』	アンソニー・ギデンズ(松尾精文 ほか訳)	而立書房	ISBN-10: 4880593508

前提学力等

履修資格

講義名	社会システム分析設計・演習						担当教員	和田 有朗
講義コード	1201621	単位数	3	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	212ETR301							

授業概要

地球温暖化問題は人々の社会経済活動と暮らしに密接な関係があり、温暖化防止のために暮らしと経済活動による低炭素社会の構築が求められている。そのための一つに都市や地域における人の移動を車からより環境負荷の低いモビリティへの転換が迫られている。環境負荷軽減への配慮から欧米社会では一般的な都市交通手段（短距離交通手段）として自転車利用が注目されている。一方、近年、持続可能な社会に向けて、食品ロス削減への関心が高まっている。食品ロスとは食べられる状態であるにもかかわらず廃棄される食品のことである。日本の食料自給率は38%（2016年度）であり大半を海外からの輸入に頼っている一方で、食べられる食材を大量に廃棄しているのが現状である。食材の多くを海外から輸入している日本は今後も継続的に安定した食生活を送るためにはどうすべきかを考え、行動していく必要があり、食品ロスの削減は避けられない課題といえる。また、本授業では小型家電リサイクルについても取り上げる。本授業では低炭素社会および循環型社会に向けて「環境配慮型の自転車利用」「食品ロス」「小型家電リサイクル」をテーマに、情報を集めアイデアを生み出す手法（発想法）、企画を立てる手法（企画法）、表現する方法（図解表現法）、提案手法（プレゼンテーション手法）などを実践的に体得する。

到達目標

- (1)様々な方法で情報を集め、アイデアを生み出すことができる（発想法）
- (2)問題意識に基づいて企画を立てることができる（企画法）
- (3)企画内容を図示化することができる（図解表現法）
- (4)説得力をともなって提案を行うことができる（プレゼンテーション法）

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)について25% 到達目標(2)について25% 到達目標(3)について25%

3分の1以上欠席した場合は、特別な事情（病気等）がある場合を除いて、評価の対象としない。

授業外学習

毎回の授業で課題提出を課す。授業中に完成しない場合は宿題となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	発想法入門	星野匡	日本経済新聞社	978-4532110772
2	企画の立て方	星野匡	日本経済新聞社	978-4532013806
3	問題解決手法の知識	高橋誠	日本経済新聞社	978-4532013417

前提学力等

履修資格

講義名	社会調査実習（政策）						担当教員	平岡 俊一／林 宰司／村上 一真／ 平山 奈央子／白木 裕斗
講義コード	1201630	単位数	1	開講期	通年	授業種別	実習	
ナンバリング番号	312ETR301-C, 330SOC303, 335SOC320							

授業概要

本科目は、社会調査の企画から報告書の作成までを、個人もしくはグループで取り組むことによって、社会調査の全過程を理解できるように実習形式で実施する。調査の準備段階から、調査の実施、さらには調査報告書の執筆を体験することによって、実社会に出てからも社会調査に従事できるような技術を習得することを目的とする。社会調査のテーマ設定から綿密に指導し、現場での調査方法を詳しく説明する。インタビューやアンケートなどの調査手法は、調査対象者の属性の違いを踏まえて、各履修者が検討することになる。

到達目標

社会調査士の資格認定において最後の履修科目となる場合が多いので、社会調査について学べることの集大成を目指す。具体的には、(1)社会調査実施、(2)プレゼンテーション、(3)質疑応答、(4)調査報告書執筆、ができるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	(1)社会調査を実施し、分析・考察することができる 60% (4)調査報告書を執筆することができる 20%
上記以外	20	(2)レジュメを作成し、発表形式の報告ができる 15% (3)他の履修生の発表に対して、コメントを述べるができる 5%

授業外学習

授業時間以外に各自の社会調査について計画し、調査の実施および報告書の作成に従事する。調査の進行状況については随時、授業で報告してもらう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

地域調査法、地域調査法演習、基礎統計、応用統計学、応用統計学を受講していなければならない。

履修資格

講義名	社会調査実習（政策）						担当教員	平岡 俊一／林 宰司／村上 一真／ 平山 奈央子／白木 裕斗
講義コード	1201630	単位数	1	開講期	通年	授業種別	実習	
ナンバリング番号	312ETR301-C, 330SOC303, 335SOC320							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス（調査目的と調査倫理の説明）	ガイダンス（調査目的と調査倫理の説明）
第2回	調査方法の説明（先行研究の参照、資料の扱い方）	調査方法の説明（先行研究の参照、資料の扱い方）
第3回	調査の企画と仮説の構成	調査の企画と仮説の構成
第4回	調査の項目の選定	調査の項目の選定
第5回	調査票の作成	調査票の作成
第6回	調査対象の設定（対象者および対象地域）	調査対象の設定（対象者および対象地域）
第7回	サンプリングの方法	サンプリングの方法
第8回	データ分析の方法	データ分析の方法
第9回	分析結果の表現方法	分析結果の表現方法
第10回	調査案の報告	調査案の報告
第11回	調査案の検討	調査案の検討
第12回	調査修正案の報告	調査修正案の報告
第13回	調査修正案の検討	調査修正案の検討
第14回	調査実習のスケジュール作成	調査実習のスケジュール作成
第15回	社会調査の準備	社会調査の準備
第16回	調査の実施（調査票の完成）	調査の実施（調査票の完成）
第17回	調査の実施（調査票の配布）	調査の実施（調査票の配布）
第18回	調査の実施（調査票への質問の対応）	調査の実施（調査票への質問の対応）
第19回	調査の実施（調査票の回収）	調査の実施（調査票の回収）
第20回	関係者への聞き取り	関係者への聞き取り
第21回	聞き取り調査のまとめ方	聞き取り調査のまとめ方
第22回	調査票の集計	調査票の集計
第23回	単純集計結果の検討	単純集計結果の検討
第24回	集計結果の統計分析	集計結果の統計分析
第25回	分析結果の検討	分析結果の検討
第26回	仮説の検証	仮説の検証
第27回	調査結果のまとめ	調査結果のまとめ
第28回	調査結果の報告	調査結果の報告
第29回	報告書の提出方法	報告書の提出方法
第30回	報告書の完成	報告書の完成
担当者から一言		

講義名	森林環境学							担当教員	渡部 俊太郎	
講義コード	1201790	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義			
ナンバリング番号	211STR211, 212PEL304, 214BRM283									

授業概要

森林環境を理解するために必要となる内容を講義する。地球上での森林の分布パターンと気候の関係、森林の動態・構造、樹木の生活史と種の共存、森林と人間の関わりについて解説する。

到達目標

- 1) 様々な森林に共通して見られるパターンとそれを形成するプロセスについて理解をする。
- 2) 気候・環境による森林の分布、森林の構造と維持機構、森林の生物とそれらの相互作用について理解する。
- 3) 森林への人為の影響について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	25	
上記以外	25	日常のレスポンスカードの評価。

授業外学習

必要に応じて課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	森林生態学	日本生態学会	共立出版	ISBN978-4-320-05736-4
2	Plant Ecology: Origins, Processes, Consequences	Paul Keddy	Cambridge university press	ISBN978-1107114234
3	植物の繁殖生態学	菊沢喜八郎	蒼樹書房	ISBN4789130541

寺島一郎ほか著『植物生態学』（朝倉書店）ISBN4-254-17119-6

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習						担当教員	学科教員 / 金谷 健 / 井手 慎司 / 高橋 卓也 / 香川 雄一 / 林 宰司 / 上河原 献二 / 村上 一真 / 平山 奈央子 /
講義コード	1201930	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	312BTC401							

授業概要

「問題設定の方法」では、過去の卒業論文を評価することにより、研究という様式の理解とテーマ設定について学ぶ。「研究計画の設計」では、調べて、考えて、書いて、そしてまとめる、という一連の作業でもっとも軽視されがちなこの段階をめぐり、作業目的と作業方法との関連づけを再確認する。「分析と総合化の手順」では、文献資料および基礎的データのリサーチ方法の取得、その読み込みなどを行う。「総合化と見直し」では、問題設定と結論までの直線性と幅の確保に留意する。

到達目標

- (1) 卒業研究の計画設計にむけた方法論の基礎について、積極的に学び、理解する。
- (2) 卒業研究の計画設計にむけた準備作業に取り組む。
- (3) 卒業研究の計画設計について、指導教員が指定する課題に取り組み、それを完成させる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(2) 卒業研究の計画設計にむけた準備作業に取り組む。(35%) (3) 卒業研究の計画設計について、指導教員が指定する課題に取り組み、それを完成させる。(15%)
上記以外	50	(1) 卒業研究の計画設計にむけた方法論の基礎について、積極的に学び、理解する。(50%)

課題への取り組み85%、課題内容15%

到達目標の

授業外学習

1クールの1つのミニレポートを提出する。演習全体が終了したのち、夏期の課題レポートを作成する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「社会調査」のウソーリサーチ・リテラシーのすすめ	谷岡一郎	文春新書	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習						担当教員	学科教員 / 金谷 健 / 井手 慎司 / 高橋 卓也 / 香川 雄一 / 林 宰司 / 上河原 献二 / 村上 一真 / 平山 奈央子 /
講義コード	1201940	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	312BTC402							

授業概要

前期の6月に、学生が指導を受けたい教員を選ぶ。学生の選択にもとづき、教員1人あたり数名の学生でゼミを構成する。研究室単位で、学生は指導を受ける。学生自ら調査したことを文章化してゼミのなかで発表し、それに対するコメントを受け、それに反論、再考察するというプロセスの繰り返しを通じて、学生は自らの研究テーマを発掘していく。学期の後半になると、学外において現地調査を始める学生が増えてくる。最後に、卒論着手発表会で成果を、パワーポイントを用いて発表する。

到達目標

- (1) 卒業研究の計画設計にむけた方法論について、配属された研究室の専門分野の知識を理解し、積極的に学ぶ。
- (2) 卒業研究の着手発表会にむけた準備作業に取り組む。
- (3) 卒業研究着手発表会で、研究計画や進捗状況を発表する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) 卒業研究の計画設計にむけた方法論について、配属された研究室の専門分野の知識を理解し、積極的に学ぶ。(25%) (2) 卒業研究の着手発表会にむけた準備作業に取り組む。(25%)

卒論への取り組み 30% 発表形式 20% 発表内容 50%

内容の評価項目： テーマの独創性、 目的達成の可能性、 研究計画の具体性、 調査の進行度（自分の調査がなされているか）、発表の評価項目

授業外学習

ゼミでの報告と卒論着手発表会での報告

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

必要な参考文献は各ゼミで指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

必要な参考文献は各ゼミで指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習						担当教員	学科教員 / 金谷 健 / 井手 慎司 / 高橋 卓也 / 香川 雄一 / 林 宰司 / 上河原 献二 / 村上 一真 / 平山 奈央子 /
講義コード	1201950	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	412BTC401							

授業概要

研究は「問い」から始まる。それに答えることが研究に他ならない。専門的には、問いを仮説、答える行為を検証と呼んでいる。研究成果の独創性は、仮説の独創性で決まる。仮説をうまく設定して、その検証方法を示すことが研究方法の策定である。ゼミ単位で訓練を受けることにより、この作業の進め方が納得できるようになる。後半の時間で、自ら調査を進め、資料の収集、整理、解析を通じて、自分の思考を開発していく。

到達目標

- 1) 自分が関心をもつ課題について、調査計画を立てることができる。
- 2) 仮説を解明していくために、調査等を通じて必要な資料を収集し、整理・分析することができる。
- 3) 資料の整理、分析によって、自分がたてた仮説を検証することができる。
- 4) 自分の仮説と検証のプロセスについて、人前で報告することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	1) 自分が関心をもつ課題について、調査計画を立てることができる。15% 2) 仮説を解明していくために、調査等を通じて必要な資料を収集し、整理・分析することができる。15% 3) 資料の整理、分析によって、自分がたてた仮説を検証することができる。50%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習						担当教員	学科教員 / 金谷 健 / 井手 慎司 / 高橋 卓也 / 香川 雄一 / 林 宰司 / 上河原 献二 / 村上 一真 / 平山 奈央子 /
講義コード	1201960	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	412BTC402							

授業概要

設定した仮説を検証するための対象・方法を選び、具体的な調査計画を立てる。また、調査によって得られた情報をどのように分析していくかについて、ゼミ単位の指導から学ぶ。これらの作業を進めることによって、自分が最初に抱いた「問い」に答えることができるだろう。それが、「結論」である。こうした、仮説から結論にいたる一連の流れを論文としてまとめあげる様式や表記方法についても学んでいく。

到達目標

策定した研究計画にもとづき、調査・分析等を実施し、研究を論文としてまとめられる。
 1) 自分の発表に対する質問やコメントをもとに、当初の仮説を再検討することができる。
 2) 仮説の再検討にもとづいて、必要な資料の収集・整理・分析をすることができる。
 3) 資料の整理・分析によって、修正された仮説を検証することができる。
 4) 仮説の設定から検証に至る研究プロセスを、論文としてまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	1) 自分の発表に対する質問やコメントをもとに、当初の仮説を再検討することができる。10% 2) 仮説の再検討にもとづいて、必要な資料の収集・整理・分析をすることができる。10% 3) 資料の整理・分析によって、修正された仮説を検証することができる。10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画基礎演習						担当教員	学科教員 / 金谷 健 / 井手 慎司 / 高橋 卓也 / 香川 雄一 / 林 宰司 / 上河原 献二 / 村上 一真 / 平山 奈央子 /
講義コード	1201961	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	212BTC202							

授業概要

環境政策・計画分野では、社会との関わりの中で課題を発見し解決する力が求められる。本演習では、その基礎的な力として、文献をもとに自らの問題意識を明確化し、現場における調査に向けて問いを立てる力を養うことを目指す。この内容を通じて、社会とのかかわりの中にある環境政策・計画分野を体系的に把握するとともに、その調査の方法を習得し、より高度な演習や卒業研究の取り組みに向けた基礎を築く。

到達目標

- (1) 社会の現場における環境政策・計画分野の課題を把握し、問題を設定できるようになる。
- (2) 環境政策・計画分野の課題に関する文献にアクセスできるようになる。
- (3) 文献調査をし、レポートとしてまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	文献調査の経過報告(60%)と最終レポート(40%)により評価する。 到達目標の(1)については経過報告(20%)により、(2)については経過報告(40%)により、(3)については最終レポート(40%)により、それぞれ評価する。
上記以外		

授業外学習

文献調査と経過報告の準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画基礎演習						担当教員	学科教員 / 金谷 健 / 井手 慎司 / 高橋 卓也 / 香川 雄一 / 林 宰司 / 上河原 献二 / 村上 一真 / 平山 奈央子 /
講義コード	1201962	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	212BTC203							

授業概要

本演習の目的は、卒業研究につながる問題関心を現場から発掘し、育てることである。具体的な作業としては、環境問題にかかわる2名以上の方（学外の方）にインタビュー調査を実施する。その上で、調査内容についてレポートとしてまとめ、またプレゼンテーションにより説明する。さらに、一連のプロセスにおいて、社会調査により卒業研究を実施するために必要な基礎知識を身につける。次年度の研究室配属に向けて、卒業研究につながる関心の種を各自で発掘・把握し、言語化できるようになることを目指す。

到達目標

- (1) 卒業研究につながる問題関心を発掘できるようになる。
- (2) 学外の方2名以上にアポイントを取り、インタビューできるようになる。
- (3) インタビュー内容をレポートとしてまとめられるようになる。
- (4) インタビュー内容をプレゼンテーションにより説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(3) : 30%
上記以外	70%	インタビュー調査の経過報告(50%) : 到達目標(1)20%, (2)30% 報告会でのプレゼンテーションと議論(20%) : 到達目標(4)20%

授業外学習

インタビュー調査と経過報告の準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて各ゼミで指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策形成・施設演習						担当教員	学科教員／金谷 健／井手 慎司／ 高橋 卓也／香川 雄一／林 宰司／ 上河原 献二／村上 一真／平山 奈央子／
講義コード	1201970	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112BTC102							

授業概要

学生が自分の進路を定めてそれを達成するために大学時代に何をなすべきか？ この命題への答えを見つけること、すなわち「自分の発見」が、この授業のねらいです。当学科の教員が1週ないし2週の演習を受け持ち、その中で教員の専門分野の最先端を講義・ディスカッションあるいは現場ツアーを通じて学生にやさしく伝達します。学生は各演習に出席した後、あらかじめ指示された課題に関するレポートを1週間以内に提出する。このような作業の繰り返しを通じて次第にアイデンティティが形成されます。

到達目標

学生は自分の進路を定め、それに必要とされる能力を身につける方法を見出す。具体的には、(1)環境政策の現場に触れ、また環境関連の職業従事者の話を聞き、その実際を理解できる、(2)環境問題とその解決方法について考え、それをレポートにまとめる能力を高める、(3)自身の進路について考え始める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標の(1)～(3)それぞれについて、 学外現場演習レポート・報告：10+10=20点満点 最終レポートA・B：5点×2=10点満点
上記以外	70%	到達目標の(1)～(3)それぞれについて、 第1～14回：各回5点満点（5点満点×14回=70点満点）

授業外学習

レポート提出（第1～14回）、学外現場演習レポート提出・報告（第15回）、最終レポート（2種類）提出。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし（資料配布）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政治学						担当教員	望月 詩史
講義コード	1201980	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212PEL301, 235LAH304							

授業概要

本講義では「政治学の世界」をテーマに、「政治」とは何であり、「政治学」とはどのような学問であるのかについて考えていきたい。そして政治学の各分野を取り上げながら、政治現象をどのような観点から分析しているのかについて詳しく見ていく。

政治というと、議員や議事を思い浮かべる人が多い。確かに政治における重要なアクターであることは事実だが、決してそれらの専有物ではない。好むと好まざるとに関わらず、政治は私たちの日常生活と密接不可分の関係にある。そこで政治に係わる時事問題も積極的に取り上げる予定である。

政治学を学ぶ上で大切なのは、第一に政治現象に対する問題意識を持つこと、第二に過去と未来への視座を含みながら現在を考えることである。本講義は、こうした問題意識や思考を養う機会としたい。

本講義の内容は、公務員試験（教養試験「社会科学（政治）」や専門試験「政治学」）にも対応しているので、同試験の受験を考えている学生は積極的に受講してもらいたい。

到達目標

- (1) 「政治」、「政治学」とはどのような現象、学問であるのかを理解することができる。
- (2) 政治現象に対する問題意識を持つことができる。
- (3) 過去と未来への視座を含みながら現在を考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(1)(2)(3)について、論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	30	コメントペーパーの内容に基づいて評価する。コメントペーパーには、担当者が設定したテーマについて「意見」をまとめる場合と配布資料を読んだ上で「(自らの)解釈・評価」をまとめる場合の二通りがある。

授業外学習

- (1) 授業内容を配布レジュメを読んで復習すること。
- (2) 新聞やニュースに目を通して政治に係わる時事問題に関心を持つこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	政治学入門	阿部 齊	岩波書店	978-4000260015
2	政治学への道案内	高島 通敏	講談社	978-4062921107
3	政治学をつかむ	苅部 直ほか	有斐閣	978-4641177154

初回授業時に、教科書・参考書について説明する。

前提学力等

履修資格

講義名	政治学（国際政治を含む）						担当教員	望月 詩史
講義コード	1201990	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212PEL305, 235LAH305							

授業概要

本講義では、政治思想と国際政治を取り上げる。
 政治思想では、古代から近代までの各時代を代表する思想家や知識人に焦点を当てながら、主要な政治思想を取り上げる。「○○主義」という政治概念が頻繁に登場するが、できる限り具体的な中身を明らかにしていきたい。なぜならば、その意味内容が時代ごとに変化するのはもちろん、同時代においても相違が見られるからである。
 国際政治では、国内政治との共通点・相違点について考えていきたい。特に後者を明らかにするために、国際政治の成り立ち（歴史）、国際社会における政治現象を分析する枠組み、そして今日的課題（テロリズム、核、環境問題など）を取り上げる。
 これらのテーマの理解度を高めるには、具体的な政治現象と関連付けて考えることが望ましい。したがって、政治に係わる時事問題も取り上げる予定である。
 政治学を学ぶ上で大切なのは、第一に政治現象に対する問題意識を持つこと、第二に過去と未来への視座を含みながら現在を考えることである。本講義は、こうした問題意識や思考を養う機会としたい。
 本講義の内容は、公務員試験（教養試験「社会科学（政治）」や専門試験「政治学」）にも対応しているので、同試験の受験を考えている学生は積極的に受講してもらいたい。

到達目標

- （１）現在の価値観を前提とせず歴史的に政治思想を理解することができる。
 （２）国際政治と国内政治の共通点・相違点を理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標（１）（２）について、論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	30	コメントペーパーの「内容」に基づいて評価する。コメントペーパーには、担当者が設定したテーマについて「意見」をまとめる場合と配布資料を読んだ上で「（自らの）解釈・評価」をまとめる場合の二通りがある。

授業外学習

- （１）授業内容を配布レジュメを読んで復習すること。
 （２）新聞やニュース等に毎日目を通して政治に係わる時事問題に関心を持つこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	国際政治学をつかむ 新版	村田晃嗣ほか	有斐閣	978-4641177222
2	西洋政治思想史	宇野重規	有斐閣	978-4641220010
3	近代日本思想案内	鹿野政直	岩波書店	978-4003500187

初回授業時に、教科書・参考書について説明する。

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究（環境政策・計画）						担当教員	学科教員／金谷 健／井手 慎司／ 高橋 卓也／香川 雄一／林 宰司／ 上河原 献二／村上 一真／平山 奈央子／
講義コード	1202441	単位数	3	開講期	前期研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	412BTC403							

授業概要

卒業論文作成に指導教員の指導を受けつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、オリジナリティ（新規性・独創性）、有用性（利用できるか）、論理性（論理が整然としているか）、完結性（論文として完成しているか）でまら。分析方法として多変量解析やGISなどを習得する。（2015（平成27）年度より開講）

到達目標

- (1) 学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過した証＝人類の知に新たな知を追加したことを作ること
(2) 学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何かを知ること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標を卒業論文で評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究（環境政策・計画）						担当教員	学科教員／金谷 健／井手 慎司／ 高橋 卓也／香川 雄一／林 宰司／ 上河原 献二／村上 一真／平山 奈央子／
講義コード	1202442	単位数	3	開講期	後期研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	412BTC404							

授業概要

卒業論文作成に指導教員の指導を受けつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、オリジナリティ（新規性・独創性）、有用性（利用できるか）、論理性（論理が整然としているか）、完結性（論文として完成しているか）でまら。分析方法として多変量解析やGISなどを習得する。（2015（平成27）年度より開講）

到達目標

- (1) 学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過した証＝人類の知に新たな知を追加したことを作ること
(2) 学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何かを知ること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標を卒業論文で評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	地域開発論						担当教員	平山 奈央子
講義コード	1202550	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	212ETC303, 214BRM294							

授業概要

地域が抱える問題が深刻化し、看過できなくなった段階において公共部門による地域政策が生み出される。この地域政策に沿って実施されるのが「地域開発」である。
本講義では、戦後の国土開発の変遷と琵琶湖流域の水資源開発の事例について学ぶ。特に、地域を構成する場所や人の変化に着目し、その時代に着目されていた課題の整理とそれに対して地域政策が何を実施し、その結果どのような功罪があったのか、という地域開発ストーリーを紐解く。

到達目標

1. 地域開発の理論と歴史について理解できる
2. 地域開発政策の実態とその功罪を理解できる
3. 今後の地域開発のあり方について考察できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	前半の琵琶湖総合開発に関するレポート 最終レポート
上記以外	60%	小レポート（主要な回で実施）

レポートについて、提出期限を過ぎた場合は採点しない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域環境政策論							担当教員	香川 雄一 / 瀧 健太郎
講義コード	1202580	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	211FFM212, 212ETC304								

授業概要

環境問題は時代と地域によってさまざまなパターンで発生する。したがって過去の環境政策も具体的な問題に応じて実施されてきた。本授業ではとくに地域や時期による環境政策の違いをいくつかの具体例を紹介しながら説明していく。また環境政策の効果と課題を時代の変遷から眺めていく。具体例では国内の代表的な事例と身近な地域の事例を取り上げることにした。環境政策の理論と環境計画の現実を実際の経験から学んでもらいたい。

到達目標

- (1) 環境問題が発生した地域の概要を説明することができる。
- (2) 日本における環境問題の歴史的発生パターンを理解することができる。
- (3) 地域における環境政策の成果と課題について検討することができる。
- (4) 対象地域を設定して、環境問題の原因・発生過程・対策・課題を批判的に論述することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	・対象地域を設定して、環境問題の原因・発生過程・対策・課題を批判的に論述することができる。(50%)
上記以外	50	・環境問題が発生した地域の概要を説明をすることができる。(25%) ・日本における環境問題の歴史的発生パターンを理解することができる。(15%) ・地域における環境政策の成果と課題について検討することができる。(10%)

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業内容の予習に関するレポート、授業の理解度を問う課題を出すことがある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

日本の各地方における地誌を理解しておくことが望ましい。

履修資格

講義名	地域システム論						担当教員	和田 有朗
講義コード	1202640	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112ETC201-C							

授業概要

地域システム論は人間や人間集団および生活や生産活動の空間、広がりを対象とするが、それらはひとつに統合された主体・広くは環境系という様々な主体間のつながりをもつシステムをなしている。人間の生活や様々な団体・組織の活動とその環境を統合して全体を地域とみなし、その成り立ちと機能を明らかにしていく。国や地方の地域の状態、地域政策のあり方、地域政策の問題点、今後の課題と方向について、事例等を交えて講義する。人間を中心とする自然的、経済的、社会的な複合体を対象とする。

到達目標

- (1)大都市圏からコミュニティに至る各空間スケールでの地域の成り立ちと機能を理解できる。
(2)各空間スケールに対応した地域問題の性格とそれへの対応策を理解できる。
(3)地域のガバナンスにおいて重要な役割を果たす自治体の性格と機能を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)(2)(3)について、定期試験で評価する。 (1) 20% (2) 20%
レポート課題		
上記以外	40	到達目標(1)(2)(3)について、課題で評価する。 (1) 10% (2) 20%

3分の1以上欠席した場合は、特別な事情（病気等）がある場合を除いて、評価の対象としない。

授業外学習

授業中に毎回演習問題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	地域システム論						担当教員	和田 有朗
講義コード	1202640	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112ETC201-C							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	地域システムとは	地域とは何か、 地域のとらえ方、 存在実体としての「地域」、 地域の特性
第2回	地域と地域問題の関わり	地域問題の発生、 地域問題の多様性と複雑性、 地域経済の問題、 地域社会の問題、 地域環境の問題
第3回	都市圏の構造変化	都市圏と生活圏の変化、 都市と都市圏整備政策、 都市問題と製造業 - 住工混在問題、 産業集積と住工混在、 住工混在問題への取組
第4回	都市圏の地域問題	都市農業と農地問題、 土地利用の混在問題、 都市農業の実態、 市民農園の普及
第5回	コミュニティをめぐる地域問題(1)	(1)地域社会組織としての町内会、 町内会単位の地域社会、 近代化と住民組織、 町内会の制度化、 小学校区とコミュニティ
第6回	コミュニティをめぐる地域問題(2)	(1)コミュニティと防犯、 犯罪機会、 都心部における犯罪分布、 防犯のまちづくり (2)歴史的町並みの保存、 歴史的町並みの衰退、 歴史的町並み景観保全への課題
第7回	地域格差	日本の地域間所得格差、 人口構造の地域特性、 大都市のインナーシティ問題、 地方都市中心市街地の空洞化
第8回	就業構造と地域特性	産業の空洞化と大都市就業構造の変化、 都市型工業の地方分散とグローバリゼーション、 製造業就業者数の変化、 就労機会の地域格差
第9回	サービス経済化と都市の就業問題	サービス経済化、 減少する人口と就業者、 地方都市の就業構造、 中心商店街の課題
第10回	産業構造の地域特性	産業立地の変化と農山漁村の就業問題、 工業の地方分散と農家の多就業化、 工場の海外移転、 公共事業の削減と建設業の農業への参入、 農村女性の起業化
第11回	産業振興による地域政策	巨大都市圏の産業集積、 中小都市圏の産業集積、 地域産業政策、 地域ブランド
第12回	グローバル化と産業空間のネットワーク化	産業集積と生産ネットワークの広域化、 エネルギー資源の供給構造、 食糧輸入と安全性、 観光立国日本の可能性
第13回	グローバル化による国際移動・国際交流	エスニックコミュニティ（民族的コミュニティ）、 外国人労働者の流入、 外国人留学生、 NGOの国際活動
第14回	地域再生の方法(1)	地域活性化策の推移、 「地域再生」の考え方、 特区の限界と地域再生、 特区モデルの課題、 地域再生ミッションの再構築
第15回	地域再生の方法(2)	制度スキームの設計、 財政支援措置のあり方、 地域再生税制、 再チャレンジ支援寄附金税制、 地域再生税制の活用事例
	</	

講義名	地域調査法						担当教員	香川 雄一
講義コード	1202660	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	112BTC201,114BRM196							

授業概要

地域調査と社会調査についての基本的事項を学習する。フィールドワークのための基礎知識を習得することが目的である。社会調査についての歴史や意義を理解するとともに、調査方法の基礎と注意事項について説明する。調査の種類について質的調査と量的調査があることを学んだ後に、それぞれの具体的なデータについて例示しながら紹介していく。さらに資料やデータの収集から分析に至るまでにどのようなプロセスが必要になるのかを理解していく。

到達目標

- (1) 地域調査のために、適切な資料を集めることができ、それらの説明をすることができる。
- (2) 地域で発生する問題から、地域調査のために必要なキーワードを導き出すことができる。
- (3) 身近な地域について関心を持ち、調査すべき課題を見つけ出すことができる。
- (4) 地域調査を準備するために、具体的で実現可能性のある調査計画を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	地域調査を準備するために、具体的で実現可能性のある調査計画を作成することができる。
上記以外	50	・地域調査のために、適切な資料を集めることができ、それらの説明をすることができる。(20%) ・地域で発生する問題から、地域調査のために必要なキーワードを導き出すことができる。(15%) ・身近な地域について関心を持ち、調査すべき課題を見つけ出すことができる。(15%)

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。3 分の 1 以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業の理解度を問う課題を出す。地形図の購入や統計書の検索を課すことがある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジオ・パルNEO(第2版)	野間晴雄ほか編著	海青社	9784860993153
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

調査法についての文献が読めること

履修資格

講義名	地域調査法演習						担当教員	香川 雄一
講義コード	1202670	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	112BTC202-C							

授業概要

実際に地域調査や社会調査を扱っている研究例から調査の実施方法を学んでいく。さまざまな資料やデータがどのようにして収集され、分析されているのかを具体的に解説する。先行研究例にならって、調査目的や調査方法の決め方、調査企画と調査設計の作り方について習得していく。調査方法に関しては、準備から実施、分析に至る前の過程をサンプリング方法やデータのコーディング方法にも触れつつ具体的に説明する。インタビューの仕方やフィールドノートの作成方法についても解説する。

到達目標

- (1) 地域調査の準備について、目的・方法・企画・地域概要の説明をすることができる。
- (2) 地域調査の実例を学ぶために、グループワークにより先行調査の内容を報告することができる。
- (3) 適切な調査対象の選択と、サンプリングの方法について理解することができる。
- (4) 地域調査を準備するために、具体的な対象を想定した質問調査票を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	地域調査を準備するために、具体的な対象を想定した質問調査票を作成することができる。
上記以外	50	・地域調査の準備について、目的・方法・企画・地域概要の説明をすることができる。(10%) ・地域調査の実例を学ぶために、グループワークによって先行調査の内容を報告することができる。(30%) ・適切な調査対象の選択と、サンプリングの方法について理解することができる。(10%)

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。3 分の 1 以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

調査を準備するための宿題を出す。グループ別に授業時の作業課題を出す。個人別にアンケート調査票を作成する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新・社会調査へのアプローチ	大谷信介ほか編著	ミネルヴァ書房	9784623066544
2				
3				

前提学力等

地域調査法を受講していること

履修資格

講義名	地球環境システム論						担当教員	上河原 献二
講義コード	1202710	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211FFM213, 212ETC307, 214BRM286							

授業概要

私たちが日常生活を営む社会経済システムは地球環境システムの中で作動している。今日の環境問題は、そのような人間活動による環境負荷の増大が原因となっている。本講義では、人類の活動に伴って地球環境システムがどのように変化してきたのかを概観した上で、人類の最重要課題の1つである地球環境問題とその改善のための地球環境条約等の国際協力制度につき、多面的に検証し、理解を深める。そして、地球環境問題の解決と持続可能な社会の構築に向けた方策を考えるための能力を養う。

キーワード：地球環境問題、社会経済と環境、持続可能な発展、環境政策、国際協力制度

到達目標

- (1) 地球環境問題とその対策（政策）についての基本的な知識を習得する。
- (2) 地球環境問題とその対策（政策）について、自ら情報収集・考察できるようになる。
- (3) 地球環境問題の解決（持続可能な社会）に向けた方法論を論理的に考察できるようになる。
- (4) 自ら考察した方法論を、レポートとして体系的にまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	課題図書に関するレポート（2回）により到達目標（2）（20%）を評価する 最終レポートにより到達目標(4)（30%）を評価する。
上記以外	50%	レスポンスペーパーにより到達目標(1)（20%）を評価する。 中間テスト（合計30%）により到達目標(1)（10%）と(3)（20%）を評価する。

講義出席10回以上が単位取得要件となる。

授業外学習

毎回の授業でレスポンスペーパーの提出を求めるので、それを利用して授業の復習をすることが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	eco検定公式テキスト	東京商工会議所	日本能率協会マネージメントセンター	978-4-8207-4924-0
2	生態系サービスと人類の将来	Millennium Ecosystem Assessment	オーム社	ISBN978-4-274-20380-0
3				

気候変動に関する政府間パネル（第5次報告書）の「政策形成者向け要約」が政府のwebサイトに形成されている。

前提学力等

地球環境問題とそれに関する国際社会の対応についての基礎知識を身に付けておくことが望ましい。そのため、日常において新聞で地球環境問題に関するニュースを読んでおくことを勧める。

履修資格

講義名	動物生態学						担当教員	高倉 耕一
講義コード	1202750	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312PEL305, 214BRM262							

授業概要

生物社会における個体・個体群・群集の各階層における現象を取り扱う行動生態学・個体群生態学・群集生態学を概観し、生態現象をもたらす維持しているメカニズムとそのプロセスについて講義する。生物群集の成立要因として議論されている仮説について、最近の論争を含めて紹介する。

到達目標

- (1) 進化生物学的な視点から、動物の行動およびその他の形質の適応進化をもたらすメカニズムについて理解し、それにもとづいて生物現象を説明したり仮説を立てたりすることができる。
- (2) 個体群生態学における基本的な数理モデルについて理解し、それらの性質および解析法について説明することができる。また、現実の現象との関連についても説明することができる。
- (3) 群集生態学における基本的な数理モデルについて理解し、それらの性質および解析法について説明することができる。また、現実の現象との関連、および最新の仮説についても説明することができる。
- (4) 動物生態学における研究法・調査法の基礎について理解し、それぞれの適用可能性と限界について説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	生態学の主要テーマに関する基本的な理解、およびその知識の具体的な運用能力を問う。
レポート課題	25	与えられた課題に対して、適切な資料を検索・引用できる能力、それを読み解き説得力のある議論を展開できる能力を問う。
上記以外	25	5～6回のミニテストを行い、前回、前々回講義の理解度を問う。

授業外学習

3回程度のレポート課題を課す。予習課題を課すことがある。
メディア（TVプログラム、ネットのニュース記事等）の生物・環境関連記事に対し日頃から関心を持ち、批判的に視聴することを求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生態学	ベゴンほか	京都大学学術出版会	978-4876985791
2	行動生態学 原著第4版	デイビスほか	共立出版	978-4320057333
3	繁殖干渉	高倉・西田	名古屋大学出版会	978-4815809256

前提学力等

履修資格

講義名	動物生態学						担当教員	高倉 耕一
講義コード	1202750	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312PEL305, 214BRM262							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	序論：生態学とは何か、生態学の定義と分科	生態学の目的について理解する。生態現象および生態学における階層構造について理解し、生態学における各分科とその目標、および分科間の関係について理解する。
第2回	適応進化と最適戦略	生物の適応進化についてその仕組みを理解する。動物の様々な行動や形質は、適応度を最大化する戦略として選択されたものであることを理解する。
第3回	最適採餌理論	餌パッチ利用における最適戦略を題材に、限界値定理について理解する。生態学のあらゆる場面で現れるトレードオフとその解決法を、卵のサイズと数の関係を題材に考える。また、卵サイズに関連し
第4回	パッチ滞在時間、最適卵サイズ、表現型可塑性	まず「2種の餌がある場合に、どの餌を食べるべきか？」という問題をモデル化し、それをn種の餌に拡張して最適採餌理論を導出する。理論の予測と観察結果が一致しない理由から、動物の知覚・意思
第5回	進化的に安定な戦略1：ゲーム理論入門	ゲーム理論入門。ある戦略の適応度が他個体の戦略に影響をうける場合、どのような戦略が安定なのかについて、代表的なゲームを例に理解する。ここでの“ゲーム”は“プレイヤーが独自に行動を決
第6回	進化的に安定な戦略2・Fisher性比	適応進化のもう一つの原理である進化的安定戦略ESSの例として、今回は進化的に安定な性比（Fisher性比）およびその例外を理解する。
第7回	性選択1：オス間闘争とメスによる選択	性選択における2つの過程、オス間闘争とメスによる選択について知り、性的形質の進化の原理を理解する。優れた操作実験の要件を学ぶ。
第8回	性選択2：性役割と性的対立	性役割の逆転現象から、性のあり方を決める要因について理解する。同種のオスとメスでも潜在的に対立関係にあることを理解する。
第9回	個体群動態モデルの基礎：マルサス方程式とロジスティック方程式	個体群動態を記述する基本的な数理モデル、それらが示す個体群成長のパターンを理解する。
第10回	生物間相互作用：ニッチ理論と資源競争1	生物の生活史のあり方を理解する概念としてニッチ概念を学び、もっとも基本的な種間相互作用の一つとして資源競争の性質とその意味を考える。
第11回	生物間相互作用：資源競争モデル	資源競争の基本的な性質を記述する数理モデルを理解し、自然界における種間関係に資源競争がおよぼす影響についての理解を深める。
第12回	生物間相互作用：食う-食われる関係と個体群動態	食う-食われる生物の関係を単純なモデルで考え、現実と似ているところ異なるところを明らかにする。捕食-被食関係を安定化させるメカニズムを実証研究の例から考える。
第13回	生物間相互作用：捕食回避・寄生・共生	捕食被食関係の実際について。共生関係を進化的な視点から問い直す。
第14回	群集生態学	共生関係のコスト・ベネフィットについて考える。繁殖干渉についてその原理を理解し、実証例について知る。
第15回	動物生態学の研究法と全体まとめ	動物生態学の調査・研究法について実例を上げながら、それぞれの利点・欠点を含めて説明する。これまでの講義の内容を振り返り、各分科間の関連性について考察する。

講義名	廃棄物管理論						担当教員	金谷 健
講義コード	1202950	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312ETC301							

授業概要

この授業では、廃棄物管理についての基礎知識、具体的には、廃棄物問題の歴史、廃棄物処理の法律、廃棄物のリサイクル、廃棄物の処理、処理施設への住民意識、処理コストなどについて講義する。次に受講生は、各自が興味あるテーマについて調査し発表・レポートする（グループまたは個人）。このように、講義を聴くことと、自分で調べて発表・質疑すること、この両面を行うことで廃棄物管理についての理解をより深めることを、ねらいとしている。

到達目標

- (1) 廃棄物を適正に管理するために必要な基礎的事項を、説明できること。
- (2) 廃棄物管理において各自が興味あるテーマについて、調査目的・調査方法・調査結果および考察・結論を明確にした、調査・発表・質疑をできること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)については、中間ふりかえりの結果で評価する(50%)。 到達目標(2)については、調査・発表・質疑を前提として、質疑での指摘(教員+受講者)への対応表、修正パワーポイントの事情(病気等)がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ごみ問題の総合的理解のために	松藤敏彦	技報堂出版	4765534235
2				
3				

初回から、教科書を持っていることを前提に授業を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特にないが、後半の学生発表は、パワーポイントで行う。

履修資格

講義名	ファシリテーション技法・演習						担当教員	平山 奈央子
講義コード	1203061	単位数	3	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	112ETR201-C							

授業概要

ファシリテーションとは、集団による問題解決、アイデア創造などの現場において、それらの話し合いをスムーズにそして創造的に進むように意見や想いの交通整理をすることを意味する。このファシリテーションの方法によって、話し合いから生み出される成果や参加者の納得度・満足度が大きく異なる。そのため、ファシリテーションには技（技術）と頭（思考）と心（心構え）が必要である。

この授業では、前半は、「場のデザインのスキル」「対人関係のスキル」「構造化のスキル」を段階的に学び、意見を引出し、収束させるまでのファシリテーションについて実践できる状態にする。

後半は、より難易度の高い「合意形成のスキル」について、模擬的に設定された対立の「場」で実践的に学ぶ。

本講義で身に付けたファシリテーションの基礎を独自のスキルとして確立することで、行政の計画作りや地域課題解決のための様々な活動において多様な主体の参画のために応用することができる。

到達目標

- (1) ワークショップを企画することができる（場のデザインのスキル）30%
- (2) 意見を引出し、自分の言葉で整理することができる（対人関係のスキル）30%
- (3) 話し合いの内容を可視化することができる（構造化のスキル）30%
- (4) コンフリクトを調整することができる（合意形成のスキル）10%

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	課題
上記以外	80	各回の取り組み状況 ファシリテーションスキル習得レベルの確認（第12回から第15回）

授業外学習

ファシリテーションが必要な現場は多くあります。自分自身の活動の中から積極的に現場を探し、実践することを勧めます。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	法学概論（国際法を含む）						担当教員	坂田 雅夫
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	137WOC201							

授業概要

この授業では法律に関する基本知識を講義します。隣の人が自分の家の壁を壊した。怒って訪問しても、のりくらりとして、金を払うどころか、謝りさえしない。訴えてやりたいけど、どうすれば良いのか。ある朝、家にいきなり警察が来て、心当たりがないことで、逮捕された、自分はどうかになってしまうのか。こういった、本当は余り身近に来てほしくないけど、運が悪ければいつかやってくる厄介ごと。皆さんが思い浮かべる法律とは、こうした問題にからむものばかりでしょう。もちろん、こういう問題もこの授業では取り上げます。それ以外にも法律は、皆さんの日常生活にいろいろと深く結びついています。ニュース、街角、そして日常生活でみるいろいろな問題や単語が法律と結びついているんだと理解してもらえるのがこの授業の目標です。

到達目標

- (1) ニュースで出てくる法律関係の用語を理解できるようになる。
- (2) 公務員試験の法律・政治学関係の問題への基礎的知識を習得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

初回講義時に指示

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	判例法学〔第5版〕	西村健一郎・他	有斐閣	9784641184046
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	水環境政策論						担当教員	井手 慎司
講義コード	1203150	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	211FFM208, 212ETC308, 214BRM296							

授業概要

琵琶湖や日本における水環境問題の現状や課題、歴史、保全に取り組んできた行政施策と住民運動の変遷を中心に解説しながら、琵琶湖および国内、世界的な水環境問題の今後の解決にむけた方途について考えていく。毎回、質問書を配付・回収し、講義に関する質問や疑問に翌週に答えていく。

到達目標

- (1) 琵琶湖における水環境問題の現状や課題、歴史を説明できる。
- (2) 日本における水環境に関する行政施策の変遷を説明できる。
- (3) 琵琶湖や日本における水環境の保全に関する住民運動の変遷を説明できる。
- (4) 琵琶湖および国内外の水環境問題の今後の解決にむけた方途について自らの考えを述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	到達目標で示す(1)(2)(3)については定期試験(30%:(1)10%、(2)10%、(3)10%)、(4)については定期試験(5%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	65	到達目標で示す(1)(2)(3)については、小テスト(45%:(1)15%、(2)15%、(3)15%)と課題(15%:(1)5%、(2)5%、(3)5%)、(4)については、課題(5%)で評価する。

課題を2回出す。小テストを毎回実施する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義のレジメを配付

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	エネルギー変換工学						担当教員	河崎 澄
講義コード	1300040	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	312PEL306, 322THE303							

授業概要

環境負荷低減と省エネルギーのためのエネルギー変換工学に関わる基礎知識と現状を理解することを目的とする。このために、エネルギー形態、変換システム、資源や将来の見通し、風力、太陽光、バイオマスなどの新エネルギーや地球温暖化ガスによる温暖化メカニズムやその低減方法に関して理解を深め、ライフサイクルを考慮したエネルギー変換システムの考え方を習得する。

キーワード：エネルギー変換、熱機関、原子力、燃料電池、新エネルギー

到達目標

- (1)利用可能なエネルギー資源の種類と特徴およびエネルギー変換経路を説明できる。
- (2)移動用・発電用機関の種類と動作原理を説明できる。
- (3)分散型エネルギー供給システムの構成とその導入メリットを説明できる。
- (4)各種新エネルギー利用技術を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(1)～(4)を期末筆記試験により評価する。その割合は(1)10%, (2)～(4)各20%とする。
レポート課題	30	到達目標(1)～(4)を、講義中に行う10回程度のミニレポートにより評価する。その割合は各7.5%×4項目=30%とする。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エネルギー変換工学	柳父・西川	東京電機大学出版局	
2				
3				

前提学力等

「機械システム工学概論」「熱力学」の単位を修得していることを前提に講義を行う。

履修資格

